

第63回
戦車道
全国高校生大会
増刊 第1号

乙女たちの戦車道ライフをサポートする専門誌

月刊 戦車道

世界のユニークな戦車を紹介！
不肖・秋山優花里の
戦車講座

巨弾連載開始 あの激闘が明らかに!!
聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

聖グロリアーナ女学院［神奈川］×黒森峰女学園［熊本］への道〈第1回〉

巻頭特集 華麗なる戦車乙女の世界をスクープ！

グラフィック イン アクション 大洗女子［茨城］チームの日常

全国大会優勝校チームが徹底解説
大洗女子［茨城］チームメンバー 戦車愛を語る

全国大会出場校をクローズアップ
ライバルチーム研究

OVA&ゲームの最新情報が満載
ガルパン トピックス

今だから話せるガルパン関係者の証言集
プロジェクトG～ガルパンを支えた人びと～

グラフィック イン アクション
GRAPHIC IN ACTION





初試合で初めての履帯修理を体験

これは大洗女子による初練習にして初試合での、一年生チーム（後のウサギさんチーム）が遭遇した初アクシデント。一年生チームはⅣ号戦車の勢いに恐れをなし、無理な後退をして、履帯を切ってしまったのだ。

もちろん、一年生チームにとって履帯の修理は初めてのこと。操縦方法をネットを介して質問したとき、有用な回答がなかったためか、独力で修理しようとしているようだ。



【大洗女子チームの日常】

ORDINARY DAYS OF TEAM ANKOU

第一話「日曜日です！」

「よし、今日はここまで！」

生徒会広報・河嶋桃のよく通る声が格納庫に響き、この日の訓練は終わった。その帰り道……。

「はぁぁ、疲れた～」

沙織は長いため息をつく。

「そうですか？　私は、まだまだ戦車に乗っていたい気分ですけどね」

反して、満足げな顔の優花里。

「疲れているならアイスを食べるべきだ。甘いものは疲労回復に効果的だからな」

淡々とした表情で言う麻子の足取りは、朝の登校時とは違いしっかりしていて、既に次の交差点をアイスクリームショップの方に曲がろうとしている。

「じゃあ、行きますか？　セブンティーフォー・アイス」

落ち着いた微笑みを絶やさない華が確かめると、

「うん、みんなで行こうよ！」

みほが笑顔で同意し、あんこうチームの今日の寄り道先が決まった。

×　×　×

74（セブンティーフォー）アイスは全国展開しているチェーン店……ではなく、大洗のアウトレットモールとこの学園艦にしか店舗が無いローカルチェーンである。七四種類という豊富なメニューが自慢だが、トッピングとフレーバーが違うだけでベースはすべてさつまいもアイスだったりする。

「でもなぜか飽きませんよね、ここのアイス」

チョコチップミントのアイスを食べつつ、優花里が言う。

「子供の頃からさんざん食べてるが、確かに飽きないな」

相づちをうつ麻子は、キャラメルとラムレーズンとプレーンのトリプルを順調に消化中。

「うん。いつ来てもおいしいよ」

ストロベリージャムを散らしたアイスを口に運びながら言うみほは笑顔で、それはアイスがおいしいからというだけではなく、同じ時間をチームメイトと一緒に過ごせることも笑顔の理由なのだろう。

「ところでさ！　今度の日曜日、どっか行かない？」

みんなのアイスが半分くらいまで減った頃合いで、沙織が顔を上げて切り出した。

「この前の試合も勝てたし、祝勝会って感じで、たまには気分転換しようよ。みんな空いてるよね？」

「私は、お休みの日はいつもお花を生けるくらいで特に予定はありませんから、大丈夫ですよ」

「午後なら問題ない」

「私も大丈夫だよ」

「もちろん空けておきます！」

一同の予定はあっという間に確保できたが、

「で、どこに行きます？」

「うーん、そうね……」

優花里の問いかけに、沙織の視線が宙を泳ぐ。

「そもそもみんな、休みの日って何して遊んでるの？　それ聞いて、一番おもしろそうなのにしようよ。華は生け花だよね？」

「はい」

「私は……休日は目が覚めるまで寝る。それが最高の休養だ」

自信満々に言い切る麻子。

「では、目が覚めた後は？」

「本を読む」

西住みほ以外、戦車道経験0（ゼロ）でありながら全国優勝を果たした大洗女子。試合では『決してあきらめない心』で勝利を掴んできた彼女たちの素顔をキャッチしてみました。



「麻子の過ごし方に合わせるとみんなで図書館行く羽目になっちゃうなー」
「武部殿はなにをされてるんですか？」
「料理かな。日曜日って時間あるから、新しいメニューに挑戦するにはもってこいなのよ」
「沙織さんすごい……お料理得意なのは、休みの日にもちゃんと研究してるからなんだね」
尊敬のまなざしで沙織を見るみほである。
「そ、そんなに感心されるほどのことじゃないよ……で、みぽりんは何してるの？」
照れを隠しつつ、みほに聞く沙織。
「私は、近所のパン屋さんとかコンビニとかに行ったりして、あとはそのへんを適当に……」
みほが言いづらそうに答える理由は、自分の休日があまり充実していないと思っているからかも知れない。
「お散歩ですね。ゆったりした休日って素敵だと思いますわ」
しかし、いかにもみほらしい良い休日の過ごし方だ、と納得したかのように華は頷く。その隣で優花里も深々と頷いている。
「うーん、でもみんなで集まってお散歩っていうのもなんか違う気がする」
「では武部殿に習って、みんなでお料理にしますか？」
「それもなんか違うなー。やっぱり出かけたいじゃん、休みの日にみんなで集まるんだから。ていうかゆかりんは日曜日いつもなにしてるの？」
「私ですか？　私は、せんしゃ倶楽部に入り浸ってますよ」
「せんしゃ倶楽部ってあの、この前行った戦車道のショップ？」
「はい。一日中居ても退屈しません。まるでここのアイスのように、飽きることが無いです」
目を閉じて笑顔になる優花里。たぶんショップ内の光景を、今まさに思い出しているのだろう。
「戦車道のショップ？　なんだそれは」
「そういえば麻子さんとは一緒に行ってなかったですね」
「うん。あの時はまだ4人で、麻子さんが入ってくれたのは校内練習試合の途中だったから」
Ⅳ号戦車の進路上に麻子が寝ていたあの練習試合を、みほは思い出していた。
「せんしゃ倶楽部は一見の価値ありですよ、冷泉殿！」
ぐっと拳を握り、強く推薦する優花里。
「うーん、じゃあほかにいい行き先も無いし、今度の日曜はみんなでせんしゃ倶楽部に行こっか。麻子は初めてみたいだし、あの時は私たちパッと見てすぐ帰っちゃったし」
「うん、いいと思うよ」
「異議無しです！」
「そうしましょう」



「うん、簡単じゃないと思うけど、みんな頑張ってるし、できれば勝ちたいね」





　みほ、優花里、華が一斉に賛成した。麻子は賛意を示していないわけではなく、

「午後からだぞ。絶対だぞ」

　集合時間について念を押したかっただけだった。

×　×　×

「すーっ……この空気、やっぱり落ち着きますね」

　日曜の昼下がりに、戦車グッズ専門店で深呼吸する優花里。

「えー？　この空気って、鉄と油のにおい？」

　沙織の言うとおり、ここでは履帯や転輪、火薬を抜いた砲弾などを展示販売しているので、店内にはうっすら金属と機械油のにおいが漂っている。

「私たち最近戦車に乗っている時間が長いので、このにおいにも親しみが湧いてきましたよ」

「落ち着きはしないが、違和感も無いな」

　新学期から必修選択で戦車の訓練を始め、練習試合そして既に公式戦も経験している。だからみほと優花里だけではなく、華、麻子、沙織も戦車に慣れ始めていた。

「言われてみれば、前ほど変なにおいって思わなくなってきてるかも……あ」

　商品棚の下の方に、アナログメーターとダイヤルが付いている機械の箱。それに、沙織が気づいた。

「これ、無線機だよね？」

「さすが武部殿、通信手ですしピンと来ますよね。これは米軍の戦車に使われていたタイプの無線機で、SCR……」

「おーっと、ストップ。細かい話は置いといて、これっていくらくらいで買えるの？」

「おお！　ご購入を検討されるのですか！」

　まるで店員のように喜ぶ優花里。しかし、

「あの……ごめんね。水を差すみたいだけど、無線機ってかなり高くて……」

　少し困ったような面持ちで、みほが言う。

「戦車道をやってる学校は予算で買うけど、個人で買う人は滅多にいないの」

「あ、大丈夫だよみぽりん。ちょっと値段に興味があっただけだから」

　ないない、と言いたげな感じで手のひらを左右に振りながら、沙織は答えた。

「そもそも買ったとしても、女の子の部屋には置けないよこれ」

「そうですか？　私なら部屋の一等地に飾って、毎日磨きますけど」

「あはは……」

　沙織と優花里の趣味の違いに、思わず苦笑いするみほだった。

　ふと見ると、いつの間にか麻子は書籍のコーナーに移動し本を物色していて、沙織の傍らに立っている華は模型売り場に視線を向けている。

「五十鈴殿は、戦車のプラモデルに興味があるのですか？」

　めざとく気づいた優花里が声を掛ける。

「ええ。戦車の形って、おもしろいですわ。あんな形の花器があれば、私の生ける花にも変化が……」

「ないない」

　今度は口に出して言いながら、さっきと同じように手をヒラヒラと振る沙織。

「そうでしょうか？」

　ちょっとがっかりした様子で、でも視線は動かさない華は、結局模型売り場に向かった。

「じゃあ私も、服とかチェックしようかな。みぽりんも一緒に見ようよ」

「うん」

「では私は、新入荷の品をくまなくチェックしなければならないので！」

こんなこともありました【生活編】

おばあに麻子もたじたじ

学年トップの天才だが、厳しい祖母・久子に頭が上がらない麻子。でも、本当は唯一の肉親である久子を慕っている。その証拠に久子が倒れた際には、学園艦まで泳ごうとした











華さんの大食い伝説

奥ゆかしいお嬢様の華だが、見かけに寄らずかなりの大食漢。ご飯はつねに大盛りで、おかずもボリューミー。細いウエストのどこに、大量の食べ物が消えていくのか不思議である

あんなこともありました【試合編】





偵察なら優花里におまかせ

本来、人見知りだった優花里は、憧れのみほと戦車道を始めてからは、大胆な偵察活動を開始。優花里が収集した情報は、大洗女子に勝利をもたらす重要なカギとなった







忘れられない姉妹の一騎討ち

同じ西住流として、逃げる訳にはいかないみほとまほ。そこでみほは、聖グロリアーナとの親善試合の教訓を活かして、ティーガーI型戦車の後方に回り込み、乾坤一擲の一撃で勝利を掴んだ。それは、みほが自分の戦車道を見つけた瞬間でもあった





的確な指示で大洗女子を牽引

恋に恋する沙織だが、戦車道では努力を重ねて通信手として成長。さらに決勝戦では、渡河中にエンストしたウサギさんチームの救出をためらうみほの、後押し役を演じていた

みほと沙織はミリタリーウェアの売り場に、そして優花里は戦車部品のコーナーへと移動し、あんこうチームは各自思い思いの品を、しばしの間見て回った。

× × ×

「ごはん会は何回かやったけど、みんなで一緒にファミレス来るのって初めてだね」

思い出したように言いながら、大洗学園艦名物「あんこうパスタ」にフォークを差し入れるみほ。優花里曰く「一日いても飽きない」戦車ショップだが、さすがにほかの四人が飽きてしまい、少し早めの夕食になった。というわけで、みんな揃ってファミレスに来ている。

「そういえばそうですね。みほさんのお部屋に集まって、沙織さんがごはんを作ってくれて……という流れですよね、いつも」

頷く華の前には、ハンバーグとライスが並んでいる。

「たまには外食もいいよね。ていうか麻子なにそれ？　ちゃんと食べなきゃダメだよ」

麻子は黙々と、２個のケーキを交互に食べていた。デザートではなく、これが今夜の夕食ということらしい。

「たまにはいいだろう。せっかくの外食なんだから」

沙織はBLTサンドをかじりながら、軽く麻子を睨む。

「もー、今日だけだよ。次に見つけたらおばあに言いつけるからね」

「う……き、今日だけだから、心配するな」

軽くうろたえ、一瞬フォークが止まる。戦車道でも日常生活でも常に冷静な麻子だが、おばあと早起きだけは弱点だった。

「ところで、次の試合、そろそろですね」

優花里が食べているのはカレーライス。手早く済ませられて野戦食っぽいから選んだわけではなく、単にもともとカレーが好きなのだった。

「我がチームも西住殿の指揮のおかげで、めきめき強くなっています。次も勝ちたいですね！」

「うん、簡単じゃないと思うけど、みんな頑張ってるし、できれば勝ちたいね」

やる気満々といった感じの優花里とは対照的にみほの次戦への抱負は控え目で、しかし前向きだった。

「ほんとに、みんなすごいと思う。みんな未経験なのに、こんなにやれるなんて。ここにいるみんなもそうだし、ほかのチームのみんなも」

「だよね。麻子はまあ置いといて、みんな運転もなにげに上手くなってるし」

「私も最近、砲撃がより命中するようになりましたし、ほかの砲手の皆さんも上達してますね」

「ええ。操縦はウサギさんチームの阪口殿が成長著しいですし、アヒルさんチームの佐々木殿の砲撃は凄まじい命中率です」

「あと、ウサギさんは澤ちゃんがよくみんなをまとめてるよね。同級生なのにちょっとお姉さんっぽくてさ」

「小山さんもなにげに操縦が上手い。今のところ、ほかの二人が機能していないように見えるがな」

「カバさんチームのチームワークの良さも素晴らしいですよ。あれこそまさに、あうんの呼吸です」

未経験者ばかりのチームだが、それぞれに長所がある。そしてそのことを、みほはもちろんのこと、あんこうチームのみんなもわかり始めていた。

「私も通信手としてもっと頑張らなきゃ。あ、でも何を頑張ればいいのかな？」

「先日の試合、武部殿の機転はお見事でしたよ。あの通信手段が無ければ、我々は負けていたかも知れません」

「いやー、あれはたまたま役に立てたって感じだから。もっとみぽりんの助けになれたらなって思うよ」

「同感です！　私も、装填速度の短縮を目指して鍛錬します！」

「行進間射撃で命中させることができたら、砲撃戦でさらに有利になるのですが……」

さらに、みんなが自分の力を伸ばそうとしている。ここにいるあんこうチームだけではなく、ほかのチームも。

「結局、戦車の話になってしまうな」

麻子がぽつりとつぶやいたがそれは不満げではなく、むしろ微かに微笑んでいた。

「みんな……」

「ん？　どうしたのみぽりん。顔赤いけど？」

「もしかして熱があるんですか？　風邪ですか？」

「冷水パックを用意しましょうか？　こんな時のために常備していますので」

「温かくして寝るのが一番いい。体調が悪いんなら、明日は遅刻してもいいと思うぞ」

みんなに一斉に心配されたので、みほはびっくりしてしまい、感謝の言葉を途中で飲み込んでしまった。その代わりに――

「みんな……私も頑張るから、明日からも一緒にがんばろうね！」

「おー！」

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

鈴木貴昭

第1回



紅茶の園に集う乙女たち

静かな学園艦の森に、ベッドフォード・ツインシックスエンジンの重低音が響き渡る。直列6気筒エンジンを二つ組み合わせ、水平対向エンジンにしたというイギリスならではの色物だが、そこから叩き出される大出力は本物であった。

後に続くのは、赤く塗られた二階建てで有名なロンドンバス、それに搭載されていたAEC製の直列6気筒エンジンから響く、ベッドフォードに比べると軽快な音。もっとも、履帯が地面を叩く音や金属のこすれる音の方が、エンジン音よりも大きいのだが。

イギリスの誇る歩兵戦車たちが、今日も優雅に、そして華麗に学園艦の森を駆け抜けていく。

まるで観閲式の艦隊のように隊列を乱さぬよう、乗員の命の綱である紅茶をこぼさぬように、歩兵戦車から絞り出せる最大の速度で走り抜くのが英国式。

どんなに急いでいても、例え砲弾の雨の中であろうとも、恐怖に負けて我先にと突撃するどこかの学校みたいな、無様な真似をする生徒など一人もいない。

聖グロリアーナ女学院。

イギリスの提携校から受け継いだ、長い伝統と格式のある戦車道名門校の一つ。

国内有数のお嬢様学校として知られ、過去には皇族や外国の貴族も在校していたほどである。

残念ながら、全国大会での優勝は、優勝常連校である黒森峰女学園に阻まれることが多く未だに無い。それでも決勝まで進むこともあり、黒森峰、プラウダ高校に続き、サンダース大学付属と共に、国内高校戦車道四強の一角に数えられている。

学院側としては礼儀正しく優雅で上品な子女を育成するために、乙女の嗜みである戦車道に力を入れているので、必ずしも優勝が目標ではない。いかに戦うかということが重要である、ということになっている。



そのため、なりふり構わず優勝するよりは、戦いの美しさを重視するようにという教育を行っている。

もっとも、「戦争と恋愛に手段を選ばない」「歴史は勝者が刻む」というイギリス式教育のため、本音の部分は外からは見えないのであるが。

聖グロリアーナ女学院の巨大な学園艦の艦首部は広大な森となっており、その森の一等地に英国の名門ホテルをベースに、多少コロニアル様式が入ったような瀟洒な洋風建築がある。

戦車たちが向かうのは、その建物。

車種も速度も違う戦車でありながら、まるでオーケストラのように調和のとれた完璧な動きで、縦一列から先頭のチャーチルの左右に後続のマチルダⅡが広がり、綺麗な横一列隊列にシフトする。隊列を維持したまま建物の前に移動し、一斉に停車する戦車。

履帯が地面を叩く音や金属のきしむ音が静まり、アイドリング状態のエンジン音だけが森の中に響く。

中央のチャーチル歩兵戦車の車長用ハッチが開き、中から淡い金髪を編み込んで襟足でまとめた貴族然とした少女が顔を出す。

「エンジン停止！」

少女の号令と共に、一斉に停止される各車のエンジン。

一輌のエンジンだけが、やや遅れたのにその細い眉を優雅にしかめ、心配そうな口調で手にしたマイクに話しかける。

「ニルギリさん、大丈夫？」

エンジン停止が遅れたマチルダⅡのハッチが開き、慌てたようにおとなしそうな少女が顔を出す。

連載小説

聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

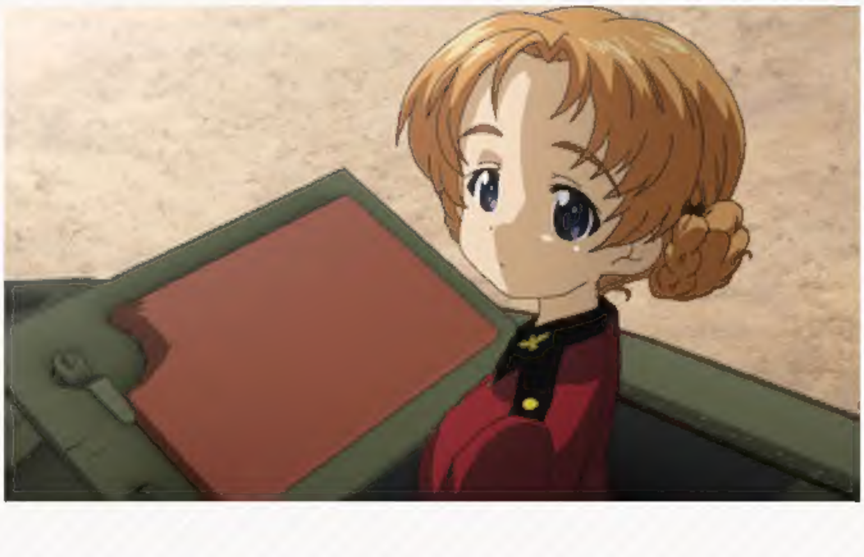
第1回

「はっ、はい、すみません、ダージリン様っ！」
　それを見て、にっこりとほほ笑むダージリン。
「いいのよ、次は合わせられるように、エンジン停止までの時間をしっかりと覚えてね」
「はいっ！」
　ダージリンはその返事を聞いて、さらに微笑みを大きくすると、総員解散を言い渡す。
　各車輌は再びエンジンを始動させると、整備用の車庫へと向かい、専属の整備班の生徒たちに車輌を預ける。
　そのまま、自分の車輌の癖や問題点を整備班と話し込む者やシャワールームへと行く者、その場で飲み物を手にする者と各自思い思いに自由行動に移る。
　ダージリンは汗一つ顔に浮かべないまま、チャーチルから降りて担当整備に簡単に車輌の状態を告げ、その肩を一つ叩いて車輌を預ける。それに嬉しそうに答える担当。

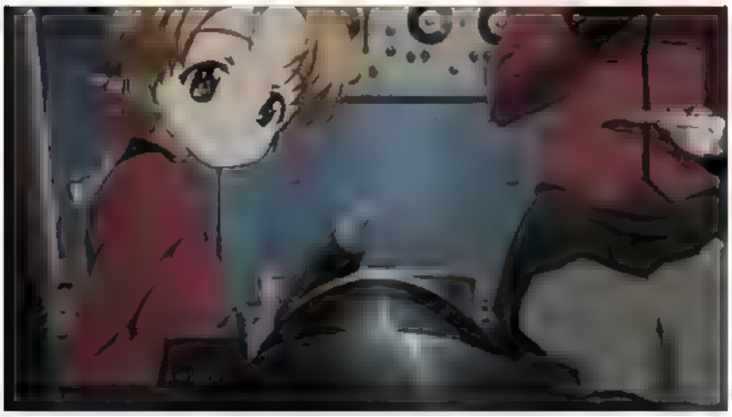
紅茶の園。

　先ほど戦車が停まった前にあった、建物の通称である。本来はヴィクトリアン・ホールと言う名前があったのだが、いつしかそれは忘れ去られ、学園内の案内図にすら通称の方が記されるようになっている。それは、ここが聖グロリアーナ戦車道の中心であり、そこに集う生徒たちが紅茶の名前を愛称としているからであった。
　豪華で年代物の調度品に囲まれたその一室に、現在の戦車道隊長であるダージリンと幹部であるアッサム、オレンジペコが、白い布を掛けたテーブルの前にある椅子に優雅に腰かけていた。
　軽いノックの音と共に、先ほどニルギリと呼ばれた少女がカートに載せたティーセットを運んできて、テーブルの上にそっと置く。
　そのティースタンドのサンドイッチを見るなり、口を開くダージリン。
「知っていて？　アフタヌーン・ティーのサンドイッチは、白い食パンの耳を落として、そこにキュウリをはさむのよ」
　それを聞いて、真っ青になるニルギリ。
「す、すみません、お取替えします」
「大丈夫。でも、覚えておいた方がよろしくてよ」
　安心させるように、ニルギリからサンドイッチやスコーンが載っているティースタンドを受け取り、テーブルの真ん中に置くオレンジペコ。
「ダージリン、新入生をからかわないで」
「あらアッサム、からかってなんていないわ」
「じゃあ、何？」
「教養は、人を豊かにするの。何かした時にすぐ言われたら、覚えるでしょう？」
「まだ慣れていないんだから……」
「あ、え、その」
　憧れの先輩たちに挟まれ、困惑するニルギリ。
　そこに、助け舟のように鳴り響く電話のベル。慌てて電話に出て、ダージリンへと取り次ぐニルギリ。
「ダージリン様、大洗女子学園生徒会長の角谷様からお電話です」
「まあ、何かしら？」
　電話を受け取り、何事かを話しているダージリン。その間にオレンジペコに促され、ほっとした顔のニルギリが部屋から出て行く。
　ちょっと首を傾げるアッサム。
「大洗女子？　そんな学校ありましたっけ」
「少々お待ち下さい、今調べます」
　アッサムの疑問に、手元のファイルを開くオレンジペコ。
　調べている間に、電話を終わらせたダージリンが二人に話す。
「大洗女子はね、昔は結構有名だったのよ。独立校の中ではそれなりに強くて、多彩な戦車を運用している、って」
「独立校ってことは……」
「提携校の支援がないんですか」
　驚く二人。
　多くの学園艦は各国に提携校があり、そこから様々な支援を受けていることが多い。これは人材や資金的な面だけではなく、戦車や戦車用の消耗品の入手やメンテナンスに至るまで支援を受けているということ







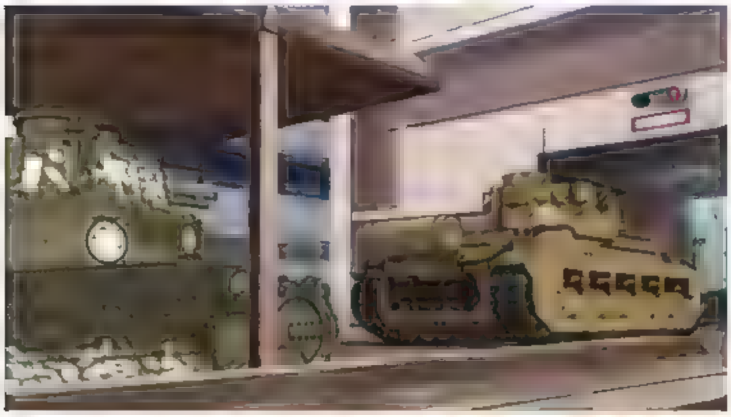


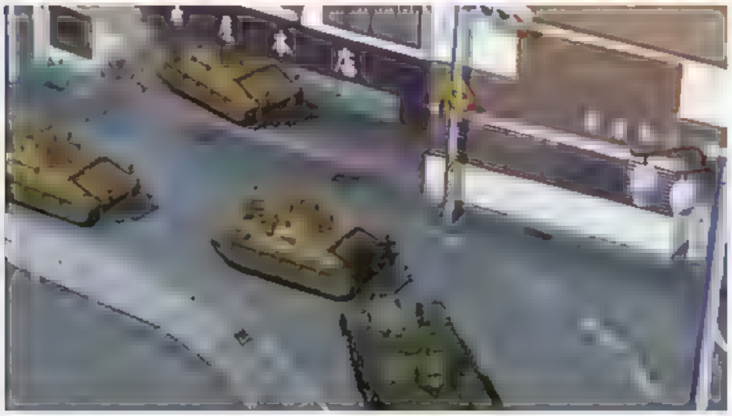


であった。
　従って各校は提携校のカラーが強く出ており、使用する戦車もその国で入手しやすい物が大部分である。
　確かに日本にも戦車ディーラーが多数あり、輸入車輌や各種部品の調達が可能である。また少し大きな都市なら、あちこちに中古戦車販売店や戦車部品を扱っている店もある。特に、せんしゃ倶楽部はその中でも有名で、大抵の部品は多少時間とお金はかかっても、どこからか取り寄せてくれる。ときどき店の入り口で掘り出し物のパーツが、格安で販売されてもいる。オープントップ車輌の特殊改造キットなども、この手の店で入手可能である。
　しかしアメリカや日本の車輌はともかく、どうしても欧州の車輌や部品は本国で買うのに比べ割高になるし、輸送費もバカにならない。また、試合で部品が消耗したなどで必要なものを急いで発注したとしても、取り寄せるのに数ヶ月かかることもある。
　結果的に、ある程度の部品程度ならば、自作可能な優秀な整備班を持っていない限りは、独立系の学校は少数の車輌を運用するので精一杯。たとえ運用できても、せいぜい豆戦車程度であった。
　そのため、独立系の学校が全国大会に出場しても恥ずかしくないだけの性能を持った車輌を、必要な数だけ集めて運用するのは難しい。結果的に車輌を揃えられない限りは、全国大会に参加できないというのが暗黙の了解となっていた。
　そんな学校が何のために連絡してきたのか、アッサムとオレンジペコは疑問に思う。その疑問に、微笑を浮かべたまま答えるダージリン。
「そう、だからいつの間にか戦車道もおやめになっていたみたいだけど、今回復活させたらしいわね」
「そんな急増チームで、何ができるんでしょうか？」
「新入生たちに、経験を積ませますか？」
　オレンジペコの疑問をよそに、アッサムがファイルをめくりながら軽く微笑む。軽く首を横に振るダージリン。
「いえ、あちらの希望は5対5。私たちも含め、ベストのメンバーでお相手いたしましょう」
「わかりました、メンバーを選定しておきます」
「お願いね」
　早速、メンバー候補のファイルを抜き出すオレンジペコ。メンバーをちらっと見て、訓練計画を提案するアッサム。
「じゃあ、私はそれまでに5輌での隊列をしっかり組ませる練習をしましょう」
「そうね、よろしくお願いしますわ」
「対策は？」
「どんな相手でも全力をつくす、これが礼儀でしょう？」
　優雅な笑みを浮かべると、ティーカップを口元へと運ぶダージリン。
流れるように決まった方針に、三人は微笑を交わしあった。

　練習試合当日・大洗沖。
　静かに海上を進む、聖グロリアーナの学園艦。
　遠くに見えてきた大洗を見ようと、たくさんの生徒たちが艦首や建物の屋上などに三々五々集まっている。
　紅茶の園・最上階にも、ダージリンを筆頭に戦車道幹部たちが集まって、口々に感想を述べていた。
「あれが大洗ですか」
「きれいなビーチですね、あそこで上陸作戦を行うんですか？」
　目の前に広がるビーチに、感動するアッサムとオレンジペコ。
　あのビーチで泳いだら、楽しいだろうなと思うアッサム。
「昔はそんな試合もあって、今でもあの海の中には沈んでいるシャーマンDDがあるんですって」
「えっ、本当に！」
　ダージリンの言葉に、驚くオレンジペコ。
「あくまでも噂よ。それに本当にあったら、大洗の生徒たちが回収しているのではないかしら？」
「そうですよねぇ」
　港のサイズを指で測って、首を傾げるアッサム。
「でも、あの港に停泊できるんですか？」
「何とかぎりぎり大丈夫なようです。タグボートに押して貰わないといけないそうですけど」
　ダージリンが口を開く前に、事前に航海科と調整して地図を確認していたオレンジペコが答える。それを聞いて、アッサムが新たな疑問を投げかける。
「へー、開発中の次世代型学園艦とかになったらどうするの？」
「沖掛りするほかないと思います。」
「いちいちランチに乗り換えるのは、大変そうだよねー」
　現在使用されている学園艦は、中には建造50年以上経っている物もあり、メンテナンスや運用に莫大な費用が必要となっている。







そこで、各国ともより大型で効率的な新型学園艦の開発と建造を進めており、それらの艦が接岸可能な港は極めて少ない。

現在も試合会場などで接岸できない場合は、沖のブイなどに停泊させて、そこから小型艇で陸地まで移動している。

学園艦は艦内のドックから直接小型艇に乗り込めるのが普通とはいえ、ひと手間増えるのは事実で、普通は直接接岸する方が好まれる。

そんな感想を述べている間に、接岸する聖グロリアーナ艦。岩壁で出迎えをしている人影に気が付くダージリン。

「あれは？」

岩壁で出迎えをしていたのは、茶色の髪を左右でツインテールにしている小柄な少女で、その左右には背の高い黒髪ショートで片眼鏡と、ポニーテールで豊満なおっとりさんが控えていた。

「角谷杏、大洗女子学園の生徒会長だ。今日はわざわざ来てくれてありがとう」

右手を差し出しながら自己紹介をする、ツインテール改め角谷会長。

その手を握り返して、挨拶を返すダージリン。

左右の二人が自己紹介をしたのに対し、ダージリンも幹部を紹介する。しばらくとりとめのない話をしたのち、一つ質問を投げかけるダージリン。

「ところで、うちに練習試合を申し込んできた理由をお聞きしてもよろしいかしら？」

申し込まれた時点で気になっていたことを単刀直入に聞いてみると、あっけらかんと答える角谷。

「ああー、ほらご近所さんだし、来て貰うのにも楽かな～って」

その返答に、拍子抜けするダージリン。

確かに、聖グロリアーナの母校から大洗はかなり近い。でも、それだけならもっと近い学校があるはず。

「理由はそれだけ？」

「うん、まあ一応うちら初めてだし、きちんとした学校じゃないと練習にもならなそうだからねー」

それを聞いて、思わず吹き出す一同。

「確かに、ご指名いただいて光栄ですわ」

「いや～、ホントに試合を受けてくれて助かったよ。ありがとね」

その言葉に、ある程度ちゃんとした情報収集と戦力調査はしているのだな、と思うダージリンであった。

挨拶も終えてそれぞれの戦車を待機所に運んでいると、アッサムが耳打ちをしてくる。

「ダージリン隊長、向こうの隊長、あの西住流ですよ？」

その思わぬ内容に、驚くダージリン。

西住流と言えば最も歴史のある戦車道流派の一つで、名門中の名門だ。だが、基本的に西住流の関係者は黒森峰女学園に行くのが普通で、ほかの学校にいるのは極めて珍しい。

「西住流？　国際強化選手の西住まほ？」

「いいえ、姉の方ではなく去年副隊長だった妹です」

それを聞いて、小首を傾げるダージリン。

そういえば、去年の黒森峰は姉妹で出場していた。

「西住妹が何でこんな学校に？」

「黒森峰が併合でもしたんでしょうか？」

アッサムの何気ない一言に、以前二つの学校が合併したBC自由学園の例を思い出したダージリン。戦車が少ない学校が出場枠を確保するために、合併することも確かにあったが、戦車も人員も豊富な黒森峰がやるとは思えない。

だとしたら、別な理由が？

「敵の編成は……」

すかさずオレンジペコが差し出した編成表に目を通すダージリン。

「Ⅳ号、Ⅲ突、38(t)……確かに、ドイツ車輌が多いわ」

「はい。20トン級と、ぎりぎり専用設備が無い学校でも整備が可能な車輌を揃えています。ある程度わかっている人間が指導をした可能性はあります」

冷静に分析を行うオレンジペコ。

それに突っ込みをいれるアッサム。

「まあ、要注意なのはⅢ突くらいですが」

「ええ、後はⅣ号でも成形炸薬弾を使わない限り、こちらの装甲は抜けないわ」

「正面から押しますか？」

「ただの力押しでは美しくないわ、私たちの浸透強襲戦術を、大洗の皆さんに教えて差し上げましょう」

不敵な笑みを浮かべるダージリンであった。
　しかし、その笑みも大洗女子の車輌を見た瞬間に凍り付く。それは幹部たちだけではなく、ほかの生徒たちも同様であった模様で、あちこちからざわめきが上がっている。
「……あの塗装は、一体なんの冗談でしょうか」
　思わず目を開くダージリン、横で信じられない物を見たと言わんばかりに、目をこすっているアッサム。
「えーっと、目の錯覚でしょうか」
「ピンク色のM3は、大洗には砂浜もありますし……」
　ダージリンの反応にアリなんだと思いつつ、突っ込みを入れるオレンジペコ。
「あれはもっと淡いピンク色です」
　次に続いてきた車輌を見て、もっと驚く一同。
「……金色」
「旗竿に……ローマ？　新撰組？　あんなⅢ突、見た事ありません」
「まともなのはⅣ号とM3だけですわね」
　いや、ピンクのM3中戦車も全然まともじゃないと、ダージリンに内心突っ込むオレンジペコ。
「こんな塗装をする学校なんて、今まで見たこともありませんわね」
「どのような試合をするか、ちょっと楽しみになってきました」
「……あの黒森峰と関係あるなら、あんな塗装はしないでしょう」
「そうだと思います」
　確かにどこの学校も戦車道で使用する塗装は、実際にあったものか、そうでなくても専用の塗料の中から選ぶのが普通だ。あんな珍妙な塗装は、黒森峰の関係校なら絶対にあり得ない。
　驚きの気持ちが残ったまま、親善試合が開始される。高校生同士だと通常はフラッグ戦だが、大洗女子に経験を積ませるため、今回は殲滅戦となった。正面から叩き合っても危険性は少ないので、隊列走行の練習も兼ねて、雁行陣を組んで大洗女子側に向けて進むように指示を下すダージリン。
　その隊列に向けて突然の砲撃。
「思っていたよりやるわね」
　至近距離を通過した砲撃を見て、追撃命令を下す。
「どんな走りをしようとも、我が校の戦車は一滴たりとも紅茶をこぼしたりしないわ」
　逃げるⅣ号戦車を、砲撃を行いながら追撃する聖グロリアーナの全車輌。よく鈍足と揶揄されるチャーチルだが、不整地では時速13キロで、Ⅳ号戦車も同様の条件では20キロ程度で走行する性能を持つ。一方、Ⅳ号戦車は砲撃を避けるために大きく左右に蛇行しているので、距離は詰まりもしないが大きく離されることもない。
　一定の距離を維持したまま左右に逃げ場の少ない隘路を走行している限り、追撃する側は通路の幅にあわせて左右均等に弾幕を張れば、いつかは命中を狙うことができる。だが、絶妙の操縦で避け続けるⅣ号戦車。
　それに対して感嘆の声を上げるダージリン。
「それにしても向こうの隊長、さすが西住流。思い切りがよろしいわね」
「はい、追撃されているのに平気でキューポラから体を出しています」



　照準の中にしっかりと見えている姿を見て、ダージリンに賛同するアッサム。
「装填完了しました！」
「砲撃を続けて！」
　オレンジペコの報告を受け、砲撃続行を命じるダージリン。全車輌での統制射撃を試みるが、やはり行進間射撃では砲撃がワンテンポ遅れる。その隙をついて逃げ回るⅣ号戦車。
「消えた!?」
　道の突き当りを曲がっていくⅣ号戦車。同時に、その突き当りの上からⅣ号戦車の周りに多数の着弾が生じる。



「あれ、私たちの砲弾じゃないですよね」
　呆れるアッサム。
「ええ、敵味方を誤認したのか、それとも支援のつもりなのかしら？」
　少しずつ砲撃が延伸して、ダージリンの周囲にも爆炎が上がる。だが、大部分の砲撃は遥か彼方に向かっていく。
「砲撃の腕は酷いわね。あれなら距離を詰めても問題ないわ。全車輌前進」
　金色に光る38（t）戦車と旗竿がなびくⅢ突が目立ち、敵の車輌が丘の上にいるのが明白だった。位置取り的には上から撃ち下ろす絶好の場所で、向こうの非力な主砲でもこちらの薄い上面装甲を貫通すること



ができる。それを狙った相手の作戦と、その場所へと誘き寄せたⅣ号戦車の技量は確かに見るべきものがあった。しかし、残る車輌の砲撃タイミングが早すぎなうえに、あらぬ方向へ撃っている。こんな腕なら、一挙に距離を詰めて接近戦に持ち込んでも恐れることはない。

坂を駆け上がると、目の前に特徴的なピンク色の車輌が飛び込んでくる。それに向けて一斉に砲撃を行わせる。

「M3に命中！」

「撃破！」

「あ、あの、敵戦車から乗員が逃げ出しているみたいなんですが」

混乱する大洗女子の車輌に向けて、砲撃を続けるように命令をする。

しかし、隙をついて逃げ出す大洗女子。それを見て、思わず驚くダージリン。

「乱戦で一輌だけとは……。追いますわ」

大洗女子の練度も低かったが、自校の命中精度もいくら走行をしながらとはいえ、あまりにも悪すぎた。

50メートル以下の距離で、しかも敵が混乱しているのに命中を出せないようでは、2000メートルの距離から当ててくる黒森峰相手に勝ちは望めない。

聖グロリアーナの戦術は、徹底した機動戦から敵車輌に肉薄して、至近距離から確実に撃破するというものである以上、近寄って当てられないのでは作戦の前提が崩れてしまう。

アッサムに訓練強化を命じないと、と考えていると、そのアッサムから敵情報告が入る。

「38（t）も見えません」

「ああ、そういえばどこかに着弾していたみたいだったわね」

一輌撃破なら、まあまあかと考え直すダージリン。

そのまま、敵を追撃するように命令する。だが大洗女子は、今までの不整地での戦闘から舗装された坂道を下り、大きな鳥居を左折。きれいに整備された舗装道路を走行していた。

不整地に比べ、路上では聖グロリアーナの車輌よりも大洗女子の方が圧倒的に速い。

それもあって、聖グロリアーナは徐々に距離を離されている。逃げる車輌に対して砲撃を続けるが、全ての砲撃は目標の後ろへと着弾していた。

「弾着が後落しているわ。相手の速度を読んで、未来位置予測をしっかりしなさい！」

各車へと飛ぶダージリンの指示。それを聞いて、オレンジペコが感想を述べる。

「思ったより、速度があるみたいです」

「砲撃は全然だけど、操縦はなかなかみたいですね」

照準を覗いているアッサムも、相手の動きの巧みさに感嘆の色をにじませる。

「あの八九式、エンジンに手が入っているようです。パワーに振り回されているようで挙動が読めません！」

焦りを見せるアッサム。それを聞いて声に感心の色が増えるダージリン。

「単なる初心者ではなさそう、次は何を見せてくれるのかしら？」

信号を大きく右折すると、視界に大洗女子の姿はなかった。

「市街地に入られました」

後を追うダージリンだが、先に交差点を曲がったはずの大洗女子は見当たらない。

「消えた？」

正面の道以外は狭くなっており、横隊を組んで追撃を行うのは難しい。敵影が見えない以上、散開してゆっくりと敵を探すよ



うに命令する。
報告をじっとまっていると、突如響き渡る砲撃音。
「あれは」
「こちらの砲撃音ではありません!」
冷静なオレンジペコの分析。
直後、二輌から被弾報告が入ってきた。
一輌擱座、もう一輌も現状確認中と、今までの有利な状況が一挙にひっくり返った。
「まさか」
手から滑り落ち、真っ二つに割れるティーカップ。
「おやりになるわね。でもここまでよ」
「ダージリン隊長がティーカップを落とした!?」
驚愕するオレンジペコ。
「敵、III突発見!」
味方の三号車から飛び込んでくる発見報告。しかも三号車を見て逃げ出した相手は、こちらへと向かっている模様。
「旗竿視認!」
アッサムの報告。
「よく狙って、一発で片付けるわよ」
「了解!」
あんな目立つ旗竿を立てていては、せっかく車高が低いIII突も意味がないと思う一同。塀の後ろに隠れているつもりでも、旗竿の先端が動いているので場所が丸分かりだ。
塀越しに砲撃を加えるアッサム。
その一撃によってIII突は擱座、車内に安堵の空気が流れる。さらには、被弾報告があった四号車からも、逆に敵を撃破したとの報告が入る。
「一瞬はどうなることかと思いましたが、これで4対1」
最後の一輌であるIV号戦車の発見報告も飛び込んできて、三輌が勢子のように追いつめていく。
「全車、合流!」
先行するマチルダIIを追うチャーチル。
一輌が曲がり切れずに建物へと突っ込んだが、直後IV号戦車は工事中の看板に進路を塞がれ立ち往生。
それを見て、勝利を確信するダージリン。
「追い詰めましたわ」
二輌のマチルダに左右に展開するように命じ、完全に道路を塞ぐ。相手の前に止まると、キューポラのハッチから顔を出すダージリン。
「こんな格言を知ってる? イギリス人は、恋愛と戦争では手段を選ばない」
その間に建物に突っ込んだマチルダIIも追い付き、盤石の態勢を築く。
「命令と同時に一斉砲撃」
ダージリンの右手がゆっくりと上がる。
その瞬間、照準一杯に何かが飛び込んできた。
「えっ、金色の!」
驚愕して、発射のタイミングを逸するアッサム。その隙をついて、砲撃する金色の38(t)戦車。
「まずい!」
思わず首をすくめる一同。しかし、5メートルもない至近距離にも関わらず、砲弾は何もない空間を飛び去って行った。
その砲撃につられ、全車一斉に金色の車輌へと砲撃を集中する。
「しまった!」
砲撃の煙で、一瞬何も見えなくなる。
その煙の中からIV号戦車の砲撃、そしてダージリンの左側にいたマチルダIIが撃破される。
「回り込みなさい、至急!」
相手と路地を挟んで並走しつつ、その先に出ようと全速で走行するマチルダII。
だが、先行したマチルダIIが交差点に突入した瞬間、一瞬にして擱座。白旗が上がる。

聖グロリアーナ女学院VS黒森峰女学園への道 第1回

聖グロリアーナ女学院 戦いの軌跡

「一瞬で一輌が!?」
驚くアッサム。
「いい腕ね」
笑みを大きくするダージリン。
進路を確認する操縦手、それを安心させるように答えるアッサム。
「隊長、指示を!」
「こちらの砲塔側面装甲は95ミリ、向こうの主砲は100メートルで41ミリしか貫徹力がないですから、絶対に抜けません!」
「成形炸薬弾なら?」
ダージリンの質問に、一瞬詰まるアッサム。
「えっと、少々お待ちを」
「70ミリから100ミリ、ぎりぎりですね」
砲弾を装填しながらオレンジペコが答える。
「前進!」
進路を塞いだマチルダIIを、押しのけて進むように命じる。交差点に出た瞬間、予想通り側面から砲撃を受け、割れ鐘のような轟音が車内に響き渡る。
「やるわね」
「耳栓をしていても、耳がキーンとしました」
砲塔の装填手側に命中したので、真横で音を聞いて耳を押さえているオレンジペコ。
その前を駆け抜けるIV号戦車。
「反撃、急いで!」
「了解!」
砲撃をかいくぐって逃げるIV号戦車。しかし反転して向かってくる。
「突撃? 観念したのかしら?」
形の良い眉を、僅かにしかめるダージリン。
正面からこちらの装甲を抜くのは無理だとIV号戦車も分かっているはず。
だが、速度を上げて立ち向かってくるIV号戦車。その姿には諦めなど微塵も感じられない。
「砲塔、右旋回!」
ダージリンの凛とした声がチャーチル車内に響く。

そして……。

試合終了のアナウンスを聞いて、大きく微笑むダージリン。
「おもしろい戦いでしたわ」
「はい、戦車も色物ばかりかと思ったんですが、意外ときちんとしていましたね」
「ええ、とても始めたばかりの初心者とは思えなかったです」
「向こうに地の利があったとはいえ、苦戦させられました」
アッサムが感情をこめて呟く。
「戦車でドリフトとは、なかなか思い切った手を使いますね」
それを聞いて目をつぶると、少し考え込む。
目を開けると、オレンジペコへと向き直る。
「アレを送って差しあげましょう」
「わかりました。ダージリン様」

紅茶の園。

オレンジペコのまとめた資料を見つつ、首をかしげているダージリン。
「これは少し調べてみる必要がありそうね」
「第6課を呼びますか?」
「ええ、お願い」
電話を取り上げ、どこかに連絡するオレンジペコ。
相手に繋がったのか、電話をダージリンに渡す。
『グリーンです』
「急な電話だけど、大丈夫だった?」
『どこの調査ですか?』
電話の相手のグリーンと名乗った少女は、挨拶もそこそこに単刀直入に切り出した。
ダージリンも、グリーンのストレートな質問を軽くいなす。
「まあ、まずは紅茶でもいかがかしら?」
『電話口で紅茶ですか。私はコーヒーの方が好みでして』
それを聞いて、眉を上げるダージリン。
「ひょっとして、あなた黒森峰のスパイ?」
『何を仰っているのですか、マム』
「伝統と格式を重んじる我が校の生徒なのに、紅茶を飲まないでコーヒーなんて泥水を飲むなんて、黒森峰のスパイとしか考えられないわ」
電話の向こうから、僅かな苦笑が聞こえてくる。
『そんな訳ないでしょう』
「いいえ、じゃがいもの食べ方でスパイと発覚した例もあるし、身についた食べ物の癖は簡単には抜けないのよ」
それを聞いた電話の相手から、さらに苦笑する気配がした。
『ダージリン様がご存じないのも無理はない』
「えっ?」
不意を突かれ、言葉が止まるダージリン。
『我らは情報を求めるもの。集うはコーヒー・ハウス。コーヒーを片手に学院を語り、学生を語り、情報を語る。それが我々GI6なのです』
グリーンの言葉に、少し頬をあからめるダージリン。
「なるほど、余計な干渉をしたのはこちらの様ですわね」
『いえ、こちらこそ失礼いたしました。……それで本日は?』
「大洗女子よ」
『……は?』
滅多なことでは動揺しない聖グロリアーナ女学院情報処理学部第6課、略称GI6の部長であるグリーンが、声に驚きを見せた。
余談だが、第6課の生徒は代々ランサム、モーム、グリーンなどの作家の名前を使っている。その中でも、一、二を争う人気なのがドイルで、フレミングは意外と人気がない。
『大洗女子には、戦車道はなかったはずでは?』
そこで今までの経緯と、練習試合の結果を話す。
『ほう、この時代戦車道を復活させるとは、おもしろい学校もあった物ですね』
「ええ、しかも独立校なんだから、ますます驚きじゃない?」
『それはまた珍しい。新設校が知名度を上げるために、金に物を言わせたならまだわかりますが』
それを聞いて、ちょっと得意な表情を浮かべるダージリン。
「そのうえ、隊長はあの西住流。使っている戦車も半分はドイツ製よ」



電話から聞こえる向こうの声に、興味を持った色が混ざる。
『……ふむ？　背後に黒森峰は？』
「まずはそこね。戦車道を始めたばかりの初心者にしては、腕が良かったから」
それを聞くと暫く沈黙だけが流れ、時計の音だけが大きく響く。秒針がたっぷり半回転するほどの沈黙で、そろそろ電話が切れているのではとオレンジペコが疑い始めた時、声がよみがえる。
『二軍か、道場の生徒を転校させて送り込んだ可能性がありますね。調べてみます』
「お願い。ただ、そうじゃない気もするの」
ダージリンの意外な言葉に、グリーンから変な声が漏れる。
『とは？』
「戦い方が西住流らしくないのよ。あのえげつないぐらい大火力を集めて、ひたすら粉砕するように前進するのではなく、どちらかというと奇策や小細工中心で」
『ま、そこも含めて調べればいいわけですね？』
「そうね、あんな何をするか分からない戦い、久しぶりだったわ」
それを聞いて、グリーンの声に楽しそうな響きが混ざる。
『マム、戦いを楽しんだのですね』
思いもよらぬ内容にびっくりして、ダージリンは、その目をまんまるに見開く。
「……そう、その通りかもしれませんわ」
『ええ、そうだとしたら、この後がどうなるのか非常に楽しみです』
そう言い放つと、電話を切るグリーン。
沈黙した電話機を見つめるダージリン。
「色々と、おもしろくなってきましたわね……」

全国戦車道大会・抽選会場。
「いよいよ全国大会の組み合わせ抽選ですね！」
「出来れば、黒森峰とは反対の組になりたいものです」
オレンジペコとアッサムが、それぞれダージリンに話しかける。
「私たちは誰であろうと、私たちの戦いをするだけですわ」
しかしもう一度、大洗女子と戦ってみたいという気持ちがダージリンの心をよぎった。
その気持ちに重なるように、響き渡るアナウンス。
『聖グロリアーナ女学院、対戦校はBC自由学園』

不肖・秋山優花里の 第1回 戦車講座



戦車だって空を飛びたい！
奇抜な空挺戦車たち

戦車を愛する私、秋山優花里が、普段あまり日の当たらないユニークな戦車を紹介する本コーナー。今回は、空挺戦車の歴史と活躍を解説します。

空飛ぶ戦車事始め

皆さん、今日も戦車していますか？　Ⅳ号戦車の装甲を磨くのが大好きな秋山優花里です。今回から映像特典を飛び出し、皆さんに戦車の素晴らしさをより知っていただくため、個性的で魅力溢れる戦車達をご紹介したいと思います。

記念すべき第一回は、本連載の飛躍を願って「空飛ぶ戦車、空挺戦車」であります！　蝶野教官の10式戦車も空から降りてきましたが、ほかにも様々な方法で空を飛ぼうとした戦車達があったこと、ご存じですか？

空飛ぶ戦車のはじまりは「戦車界のアイデアマン」として有名なアメリカ人、J・W・クリスティー殿の発案と言われています。この人の名は戦車好きなら忘れてはいけない人物。彼はいくつもの新型戦車プランを生み出したのですが、その一つが「飛行戦車」です！　なんと、重さ5トンの無砲塔戦車に主翼とプロペラを付け、戦車自ら空を駆けるという凄いアイデア！

あぁ西住殿が指揮する戦車で空を飛べたら、なんて素敵なんでしょう!!

ただクリスティー殿は実業家ではなく発明家で、様々な戦車の設計はしたのですが、製造まで至ることは少なく、この飛行戦車も机の上で終わってしまいました。残念です。

しかし、そのアイデアに着目した国がありました。戦車王国ソビエトです。

クリスティー殿の高速戦車を購入したソビエトでは、1930年代中頃から飛行戦車の研究をスタート。試行錯誤の末、1941年に着脱式の翼をつけたKT（クルイリヤ・タンカ・翼戦車）を試作します。

この戦車は空を飛ぶためのエンジンは無く、ほかの飛行機に引っ張って貰うグライダー式ですが、世界で初めての空挺戦車の誕生です！

そもそもソビエトは1932年、世界で初めて落下傘部隊を創設した国。初期ソビエトの発想の自由さには驚かされます。イギリス、フランスと違い、革命で軍上層部がいなくなったのが理由だそうです。

ただ、KT戦車は空を飛ぶ為に装甲を薄くして防御力を犠牲にしたので、独ソ戦が始まると開発は中止されてしまいます。空挺戦車どころじゃなかったんですね。翼で滑空する戦車、観てみたかったです。

枢軸側の空挺戦車

さてソビエト発祥の空挺部隊は、1935年ドイツで、1937年にはイタリアでも創設されます。ドイツは「I号戦車」を、イタリアは五十鈴殿も大好きな豆戦車（タンケッテ）「L3」をグライダーや輸送機で運ぶ研究を始めます。

「I号戦車」は重さ約5・4トン。「L3」は重さ3トン超。いずれも乗員2



二式軽戦車（ケト）
空挺用戦車として開発された、日本の戦車。九五式中戦車の最大装甲12ミリに比べ、二式軽戦車は最大16ミリを実現。それでいてサイズは、九五式中戦車よりコンパクトになっている。また、ベースとなった九八式軽戦車の砲塔が円錐形に対し、二式軽戦車は円筒形に変更。砲塔内の容積を増やし、一式37ミリ砲の搭載を可能とした



特三号戦車（クロ）
1943年、日本で開発が進んでいた滑空戦車。当時、日本の輸送機やグライダーでは戦車の搭載が不可能だったため、戦車自身に翼を取り付けて滑空させようとした。だが、戦局の悪化と超軽量化による防御力不足により、アメリカの戦車に対抗できないと判断。開発は中止された



Mk. VII軽戦車 テトラーク

もともとは、Mk. IV軽戦車の後継として開発されたイギリスの戦車。1942年、マダガスカル島上陸作戦にて初の実戦投入を果たす。だが冷却装置の能力が低く、アフリカ戦線への配備は見送らてしまう。ところが、車重の軽さに着目したイギリス軍は空挺戦車に転用。第二次世界大戦後も、グライダー部隊が廃止されるまで使用された

名の機関銃だけを搭載した小型戦車ですので、空輸に最適と考えたんですね。

そして1940年、ドイツ空挺部隊が欧州で華々しく活躍すると、日本、アメリカ、イギリスも相次いで空挺部隊を設立します。こうして世界各国で空挺戦車の開発が始まったのであります！

日本ではまず、九八式軽戦車「ケニ」をグライダーに搭載すべく研究を開始します。1942年完成の「ケニ」は乗員3名、重さ約6・2トンの軽戦車。37ミリ砲を搭載した砲塔は避弾経始を取り入れた美しいフォルムの戦車です。

しかし、先輩である「九五式軽戦車」の使い勝手がよかったので、戦争中にわざわざ新型の軽戦車を生産することもないだろうと、100輌程度の生産で終わってしまいました。かわいそうですよね。

しかしながら空挺戦車の研究は続けられ、飛行機に搭載しやすいように凹凸を少なくした、改良型の二式軽戦車「ケト」が開発されます。

乗員と重量は九八式と変わりませんが、主砲を高初速の一式37ミリ砲に変更し、対戦車能力をパワーアップ！

また空挺戦車を搭載すべく大型グライダー「ク7-II」も開発。こちらも直ぐに双発エンジンを積んだ「キ105」輸送機に設計変更されますが、日本が空挺作戦を重視していたことがよく分かります。実際、日本の空挺部隊は1942年、パレンバン空挺作戦などで活躍！　油田を無傷で奪取したのであります！

日本の空挺戦車といえば、もう一つ忘れてならないのがKT同様、翼をつけた空挺戦車「クロ車」です。正式名は特三号戦車。秘匿名も最初は「ソラ車」だったそうですが、空飛ぶ戦車が「ソラ(空)」。直球勝負で素晴らしいのですが、機密情報としては……どうなのでしょうか？

1943年に開発が始まった「クロ車」は重さ4トン前後。37ミリ砲搭載で、敵地にグライダーとして華麗に降り立ち、翼を外して戦車として活躍する予定でした。しかし、実物大模型が作られただけで開発中止に。それどころか戦局の悪化で、完成していた「九八式」も「二式」も空挺戦車としての出番は最後までありませんでした。

同様に独「I号戦車」も伊「L3」も空挺戦車としての開発は中止されます。ソビエト同様、空挺戦車を開発する余裕が無かったんですね。とても残念です。

連合軍の空挺戦車

逆に空挺戦車を真の意味で実現出来たのは、イギリスとアメリカであります。まずイギリスが生み出したのが空挺戦車Mk VI「テトラーク」です！

「テトラーク」は1940年に量産初号車が完成した乗員3名、重さ約7・6トンのごく標準的な軽戦車。その名は古代ローマ帝国を治める東西正副4人の統治者を表す名前が語源だとカエサル殿から教わりました。

主砲は「マチルダII」歩兵戦車と同じ2ポンド砲(40ミリ)。軽戦車としてはなかなかの火力。イギリス期待の軽戦車だったのですが1942年、177輌で生産が終了してしまいます。

理由は、西方電撃戦でドイツに追われ、ダンケルクに大量の重装備を置いてきたイギリスには、軽戦車まで作っている余裕が無かったこと。そしてアメリカ製の「M3スチュアート」という優秀な軽戦車が大量に貰えたことでした。

そこでイギリスでは「テトラーク」を空挺戦車に転用します。イギリスでは軽戦車を運べる巨大グライダー「ハミルカー」の開発に成功していたのです！

戦車を運ぶグライダーの開発と軽戦車の転用は、島国のイギリスと日本が似ているのがおもしろいですよね。

こうして1944年の6月6日、英第六空挺師団の「テトラーク」はノ

10式戦車が見せた現代のLAPES





本編では、学園長の乗用車を踏み潰すというインパクトのあるシーンを見せた、10式戦車のLAPES投下。現実の世界ではまだ実現していないが、近い将来には実際に10式戦車が、空から降りてくる光景を見てみたいものである

Low Altitude Parachute Extraction System(低高度パラシュート抽出方式)の略。戦術輸送機による物量投下方式の一つである。後部カーゴドアを開いた状態で、滑走路や平坦地の上空超低高度を地形追随飛行する輸送機の貨物室内部でパラシュートを展開、パラシュートの空気抵抗を利用してパレットに搭載された貨物や車輌を引き出し、地上に投下する。機内から引き出された物量はパレットと地面の摩擦により停止する。低高度を低速飛行するため輸送機が被弾する可能性は高いが、迅速で誤差の少ない確実な投下が可能になる。なお、本編で10式戦車をLAPES投下した輸送機は、現在航空自衛隊が開発を進めるC-2輸送機をスケールアップしたC-2改という設定となっている。



M22 ローカスト

アメリカで開発され、イギリスに供与された空挺戦車。第二次世界大戦時、戦車を空輸できる輸送機を所持していないアメリカでは、実戦に投入されることはなかった。だが、輸送グライダー「ハミルカー」を保有するイギリスでは、1945年3月のライン川渡河作戦「バーシティ作戦」に投入。これが、ローカスト初の実戦参加となった

ルマンディーに第1波として降下作戦を敢行。これは空挺戦車として世界初の実戦参加であります!

空挺戦車の活躍?!

しかし、グライダー降下した「テトラーク」の数はわずかに8輌程度だったそうで、戦局に大きな影響はなかったそうです。

そのせいか、ノルマンディの次に行われた空挺作戦には「テトラーク」は1輌も参加していません。そうです、1944年9月に行われた有名な「マーケット・ガーデン」作戦です。この空挺作戦では降下した英第一空挺師団は、近くで再編成中だったドイツ機甲軍団の攻撃を受け、ほぼ壊滅してしまいました。精鋭揃いの空挺兵も戦車には勝てなかったんですね。

これにこりた連合軍は、1945年3月に行われたライン川渡河作戦「バーシティ」作戦では、再び「テトラーク」を降下させています。

ちなみにこの作戦にはもう一つ、空挺戦車が参加しています。アメリカ製M22「ローカスト」です。乗員3名、重さ約7・4トン、主砲は37ミリ砲。この戦車は1941年、イギリスの強い要望でアメリカが開発を始めました。避弾経始を取り入れ、重量を徹底的に削ったM22は、合計830輌が完成します。この中でライン川に降下したのは、イギリスに渡されたM22です。愛称の「ローカスト(いなご)」もイギリス軍が名付けた名前だそうです。

しかし、アメリカは最後までM22を実戦投入しませんでした。アメリカとしては装甲の薄い空挺戦車を、強力なドイツ戦車の前に投入することは危険と考えていたようですね。

そして「バーシティ」作戦が第2次世界大戦、最後の空挺作戦となりました。

戦後の空飛ぶ戦車

戦後、空挺に熱心だったのはソビエトとアメリカです。ソビエトでは、まず57ミリ砲を持つオープントップの自走砲「ASU57」を開発。続いてドイツ駆逐戦車のようなデザインの85ミリ砲搭載「ASU85」を実用化します。但し「ASU85」は戦術輸送機による空輸用戦車でした。

そこでパラシュートによる空中投下が可能な空挺戦闘車「BMD-1」が1969年に登場します。重さ約7・5トン。73ミリの低圧砲と対戦車ミサイルを搭載。乗員3名のほかに4名の歩兵が同乗可能なマルチな車輌です。

「BMD-1」はアフガン戦争にも先鋒として参加。現在のロシアでは後継車輌の「BMD-4」が活躍中です。

一方、ライバルのアメリカも空挺戦車M551「シェリダン」を1962年に開発します。「ローカスト」は実戦投入しなかったものの、やはり空挺戦車の必要性は感じていたのでしょうね。「シェリダン」は乗員4名、回転砲塔を持つ本格的な戦車です! 主砲は152ミリ・ガンランチャーを装備。これはミサイルと砲弾を両方撃てる大砲です。またアルミ合金装甲を採用し、重さ約15トンを実現しました。こうした新機軸満載の期待の戦車でしたが、ベトナム戦争に投入されると故障が多発。アルミ合金装甲が想定より機能しなかったり、主砲のガンランチャーが扱いにくいなど、あまり良い評価はもらえませんでした……でもこれは重量51トンの主力戦車「M48パットン」を装備していた部隊に、「シェリダン」を与えて戦わせたアメリカ軍上層部の判断ミスです! 主力戦車と空挺戦車は使い方が違います。「シェリダン」はできない子じゃないんです!!

実際、「シェリダン」は1989年のパナマ侵攻作戦では見事パラシュート降下に成功! 152ミリ砲も空挺部隊の火力支援に大活躍しました。

そして1990年の湾岸戦争でも緊急空輸され、主力の「M1エイブラムス」が船で運ばれてくるまでの間、イラク相手に睨みを効かせていました。まさに空挺戦車ならではの活躍です!

しかし、湾岸戦争の後、「シェリダン」は全て退役。ロシアの「BMD-4」も主砲は30ミリ機関砲ですので純粋な戦車とは言えません。

もう1種類、ドイツに「ヴィーゼル」空挺戦闘車がありますが、こちらも機関砲と対戦車ミサイルを持つのみ。

ここに正統な空挺戦車の歴史は一端、幕を閉じてしまいました。まったく残念でなりません。

それにしてもなぜ、世界各国は手間暇のかかる空挺戦車を開発したのでしょうか? それは空挺部隊が精強なエリート部隊であっても、重装備がない歩兵部隊だからなのです。「マーケット・ガーデン」作戦のように、戦車部隊が相手では空挺部隊に勝ち目はありません。そこで彼らを支援すべく空挺戦車が求められたのであります。

確かに空挺戦車はあまり活躍する機会がありませんでした。しかし、敵地に身一つで飛び降りる空挺部隊にとって、小さくても装甲に覆われた空挺戦車の存在は、とても頼もしい存在で、士気高揚に貢献したのです。

いかがでしたか? 戦車史の中で異彩を放つ空挺戦車の歴史、お分かりいただけましたでしょうか? それではまた次回の戦車講座でお会いしましょう!



M551 シェリダン

アメリカ軍初のアルミ合金製戦車。当初から、水陸両用の空挺戦車として開発。パレットに載せた状態でのパラシュート降下のほか、LAPESによる着地も可能である。車体外周部の防水スクリーンを展開することで、水上航行も可能。なお、愛称の「シェリダン」は、南北戦争の英雄、フィリップ・H・シェリダン将軍から付けられた



モリナガ・ヨウのちょっと一言
戦車が空を飛べるなんて素晴らしいであります!
☆おお,空から戦車が舞い降りる! 空飛ぶ戦車といえばクリスティーの「飛行戦車」が有名だ。
…計画止まりとはいえ、上の絵はちょっと大げさ。履帯ではどう考えても飛び上がるスピードが出ない。地上に降りてから履帯をはめるつもりだった。
車輪式
ジャジャーン
クリスティー戦車の直系、ソ連もちゃんと空挺戦車を考えている。
KT
グライダー式で羽根を外して戦闘するのだ!(計画)
こんな計画もあった。
MAS-1
CCCP
科学の勝利
これはノルマンディーで実戦投入されています。
ちっちゃいです。
3人乗り。
☆装甲と火力のインフレを知った今日から見ると、軽量化を目指した戦車というのも不思議だが,,,,
実用化された ⇨ 空挺戦車。イギリスのテトラーク。
普通のクルマみたいにハンドルがきれる。
ぐにっ
なんかすごい
巨大グライダー「ハミルカー」で運ぶのだ。
ゴウウウ。。
ハミルカーの全幅は33.53m 全長は20.72m。B17爆撃機よりひとまわり大きい。
着陸にはものすごく広い場所が必要だ。
それでもテトラーク1台しか積めない。
小型でも戦車は重いのだ。
空から突然戦車がやってくるなんて夢がありますねえ!
・日本軍はトンデモ兵器の開発に熱心で、いろいろ考えている。
九八式軽戦車
↑このへんにつるして使うみたい。
かっこいいでしょ
戦後のアメリカのシェリダン。
パラシュートでいきなり落とせる。
軽くするためアルミでできてます。え?
目立ちそうだなー
㋲'14

第1回

ライバルチーム研究

譲れないものをかけて、試合に臨む選手たち。その姿は美しく、切磋琢磨しあい友情を深めることで、さらに大きな輝きを放つ。ここでは、大洗女子のライバル・聖グロリアーナ女学院のほか、全国大会を彩ったチームを紹介する。

ST·G·GC

聖グロリアーナ女学院

St Gloriana Girls' High School

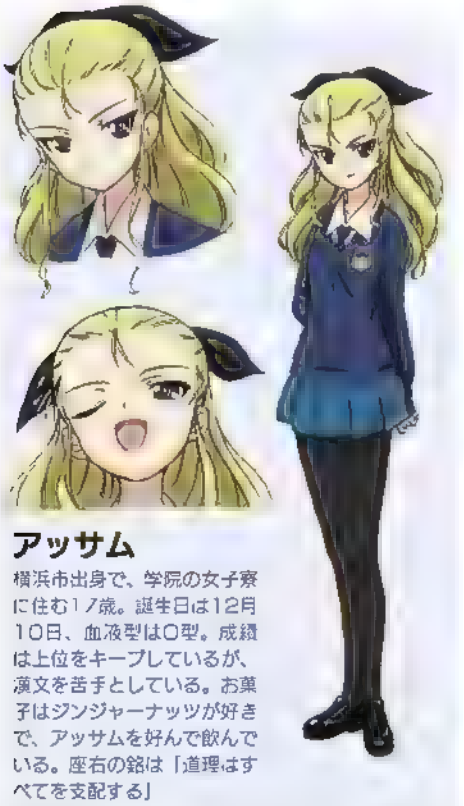
聖グロリアーナは横浜を母港としており、英国式の格式と作法を重んじた名門お嬢様学校。戦車道の名門とされる学校の一つでもある。社交性を大事にしており、定期的にパーティーが開催される。また自らもパーティーを主催することを要求されるので、多くの生徒は比較的準備の簡単なお茶会を定期的に開いている。

母校を非常に大事にし卒業生たちも支援を欠かさないため、比較的財政的にも裕福である。その割には戦車の選択は保守的であり、より優れた戦車が入手可能であっても、それがイギリス製でない限りは採用を好まない。またイギリス製でも、一度入手して慣れた車輌を長く使いまわし、新しい車輌になかなか変えようとしない一面もある。現在使用しているのは、主力としてチャーチル歩兵戦車Mk.VII、クルセーダー巡航戦車、マチルダII歩兵戦車Mk.III／IVを使用しており、ほかに保有車輌としてカヴェナンター巡航戦車、クロムウェル巡航戦車がある。後の二車種は修理中で稼働状態にはない模様で、主に最初の三車種が大会では使用されている。また、戦力強化の一環としてコメット巡航戦車の入手を筆頭に、より威力の強い17ポンド砲搭載車輌の強化を検討していると言われる。だがマチルダIIを愛する卒業生の強い反対により、取得は遅れている模様。ほかにもMk.VI軽戦車などの軽戦車を訓練用としている。また、各種装輪車輌などを輸送用として保有しているが、これらの多くは整備科の生徒たちが授業の一環としてレストアした車輌が大多数である。そのため、ある意味趣味が前面に出たラインナップとなっており、ほかにもどんな色物車輌が出てくるか、他校から密かな興味を持たれている。

聖グロリアーナでは勉強は当然として、ほかにスポーツ、芸術、ボランティアなどの活動に力を入れることが奨励されている。学業成績だけでは入学は難しく、成果はともかく何かに打ち込んでいるものを証明する必要がある。それは入学後も同様で、必ずしも結果は問われないが少なくとも一芸に秀でている生徒の方が、優秀で人間味溢れていると評価されやすい。それもあって戦車道は極めて活発であり、聖グロリアーナで「紅茶の園」の住人となるのを目指して入学する生徒もいるほどである。「紅茶の園」とは、戦車道チームのクラブハウスである。聖グロリアーナでは戦車道の隊長、各車輌の車長などの幹部、もしくは将来を嘱望されたメンバーには紅茶に因んだ呼び名をもらえることから、彼女たちが集う建物の通称となった。「紅茶の園」の住人は、同校の中でも成績が優秀で品行方正、周囲の生徒からの信任が厚い必要がある。単に戦車道の腕が優れているだけではメンバーに選ばれないため、なかなかハードルが高い。それだけに、卒業後も彼女たちの影響力は極めて大きく、学校の運営に関して資金と共に意見を述べることも珍しくない。特に、どの車輌に乗っていたかというのは重要で、その中でもマチルダ会、クルセーダー会、チャーチル会という三つの卒業生組織が大きな力を持っている。これらの会、もしくは紅茶の園のお茶会に呼ばれるのは非常な名誉であり、次代の戦車道幹部への必須条件とも言われている。パーティーやお茶会を定期的に開くとはいえ、華美な服装などはあまり好まれず、簡素で質実剛健であることが重要とされている。むしろ、そのような服装にも関わらず中からにじみ出る気品が重んじられており、心根の持ち方や立ち振る舞い、話し方やユーモアのセンス、話題性の豊富さが必要となってくる。もっとも他校からすれば、その行動がプライド高く見えてしまい、付き合いにくい相手と思われることも少なくない。これは聖グロリアーナ流のジョークや、その根本となっているイギリス人ジョークが、他校に理解されにくいのも理由の一つであろう。

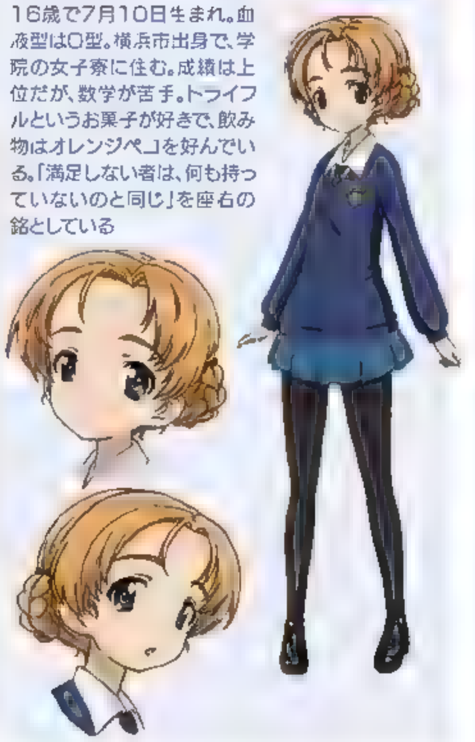
その上、紅茶へのこだわりに比べ食生活にはあまりこだわらないところも、他校からジョークのネタにされることが多い。

聖グロリアーナ女学院の選手たち



アッサム

横浜市出身で、学院の女子寮に住む17歳。誕生日は12月10日、血液型はO型。成績は上位をキープしているが、漢文を苦手としている。お菓子はジンジャーナッツが好きで、アッサムを好んで飲んでいる。座右の銘は「道理はすべてを支配する」



オレンジペコ

16歳で7月10日生まれ。血液型はO型。横浜市出身で、学院の女子寮に住む。成績は上位だが、数学が苦手。トライフルというお菓子が好きで、飲み物はオレンジペコを好んでいる。「満足しない者は、何も持っていないのと同じ」を座右の銘としている



ダージリン

9月17日生まれの17歳。血液型はAB型。神奈川県横浜市の出身で、現在は学院の女子寮に寄宿している。学院の成績はトップで、英語が得意科目。好きなお菓子と飲み物は、カスタードプリンとダージリンティー。座右の銘は「行いの美しいものは、姿も麗しい」

第63回戦車道全国高校生大会を盛り上げた

聖グロリアーナ女学院の使用戦車



チャーチル歩兵戦車 Mk.Ⅶ

分厚い装甲と強力な主砲を備える、イギリスの戦車。初期型では2ポンド砲を搭載していたが、改良を重ねてMk.Ⅵから75ミリ砲を装備。それまで127ミリの装甲を152ミリに強化した。そのかわり最高速度は時速20キロと鈍重だが、幅の広い履帯による走破性は高く、イギリス軍歩兵にとって頼もしい味方となった



マチルダⅡ 歩兵戦車 Mk.Ⅲ/Ⅳ

「戦場の女王」と称される、第二次世界大戦時のイギリス軍を代表する戦車。大戦初期の北アフリカ戦線やフランスでは、目覚しい活躍を見せた。とくに最大75ミリの重装甲は、88ミリ高射砲の水平射撃でしか破ることができず、長砲身の75ミリ砲を備えたⅣ号戦車F2型が登場するまでは、ほかの戦車では撃破が困難であった。ただし、最高速度は時速24キロとかなり遅かった



巡航戦車クルセーダー Mk.Ⅱ

チャーチルやマチルダⅡと比べ、最高時速43キロと快速を誇るイギリス戦車。北アフリカ戦線では、その機動力でドイツ軍を驚かせた。主砲の2ポンド（40ミリ）砲の有効射程は、50ミリ砲を備えるドイツ・Ⅱ号戦車の半分で、機関系も弱く故障が絶えないという弱点があった。だが、改良を重ねながら奮戦。終戦まで、イギリス軍の良き軍馬として戦い抜いた

紅茶ティーセット

好む作戦は統制のとれた浸透突破戦術で、どれだけ美しい隊列を組んだまま進撃できるかを極めて重視している。また隊列を組んで弾幕を張り巡らせて、目標を撃破すればいいという考え方のため、行進間射撃も当たり前のように行っている。とにかく足を止めずに移動し、撃ち続けながらも隊列を維持する必要がある。この戦術を実行するためには乗員全員のチームワークも当然だが、ほかの戦車との信頼関係や意思疎通能力、そして隊長の指揮能力が問われることになる。これらを完璧にこなせれば、卒業後もコミュニティの維持が容易であると同校では考えているため、それらの能力が重視されている。ゆえに単純な勝敗より、名誉を損なう戦い方を同校では邪道とし、他校であっても名誉ある敵には惜しみない賞賛を贈るのが礼儀とされている。

紅茶ティーセットA



紅茶ティーセットB



「紅茶の園」と呼ばれるだけあって、聖グロリアーナではお茶会のたびに、高級なティーセットを用意している



好敵手と認めた相手には、ティーセットを贈る伝統がある

ヴァイキング水産高校

Viking Fisheries High School

ヴァイキング水産高校の使用戦車



NbFz 戦車

ヴァイキング高校は各国の混成車輌からなっており、ソミュアS35、オチキスH35などのフランス戦車に、Ⅰ号戦車B型、Ⅱ号B型、Ⅲ号N型などのドイツ戦車を保有している。変わり種としては多砲塔戦車のNbFzも有しているが、使い方に苦慮している模様。それもあって、最近はM24チャーフィー軽戦車の導入を検討している。

岩手を母港にしており、校風は真面目で勤勉、平等を愛し清潔を好む。生徒は無口で控えめ、全員が黙って一言も口を利かないのに意思疎通が出来ているとして、他校からは不思議に思われている。実際には最小限の会話は行っているのだが、それだけ連帯感が強いということでもある。周囲との協調性を非常に大事にしており、会話も率直なことを好む。ただし相手を思いやるあまり、都合が悪い内容になると口をつぐみがちであり、自然と無口になる事が多いとも。それだけに、他校との生徒と打ち解けるのが得意ではなく、合同パーティーなどでは壁の花になることが多い。

また、極めて時間に正確であり、5分前行動どころか15分前行動を当たり前としている。決められた計画通りに動くことを非常に重視しており、戦車道でも事前の作戦を秒刻みに実行する。その動きは完全に調和がとれており、練度の高さが伺える。そのため他校からは、ヴァイキング高校の作戦計画書には「何号車何分何秒にどこどこで敵発見、主砲発射、敵正面装甲砲身から右○○糎、下○○糎に命中するも敵装甲によって弾かれ、反撃を受けどこどこに被弾、戦闘不能によって白旗」とまで書かれていると、しばしば冗談で言われるほどである。それほど計画通りに動くことを重視している。ただし作戦通りに試合が進行している時はいいが、想定外の突発事態に対処するのは大変苦手で、臨機応変に行動する学校とはかなり相性が悪い。

山岳や雪中での試合には極めて強く、また海岸での試合などでは海上からの奇襲攻撃も好んで行う。ただし、それに適した戦車がないため、潜水戦車か水上移動可能な戦車の購入も検討している模様。

自然が大好きで、学園艦も甲板上は広大な森林で覆われ、ぽつんぽつんとその中に建物が見え隠れしているほどである。それら建物の多くはサマーハウス(シンプルな別荘)で、ヴァイキング高校の生徒は夏休みの間、ここでごろごろするのを最大の楽しみとしている。自然環境を少しでも広くとるため、大部分の施設が艦内にあるのも特徴の一つである。

ありとあらゆる材料を使用して、多種多様な種類のパンを作ることでも知られており、時には猛烈にチャレンジングなパンも作られる。またスモーガスボードと呼ばれる、テーブルに色々な種類の料理を並べて、自分の皿に少しずつ取って食べるのが好まれている。特にたくさんの皿を重ねるほどいいとされており、僅かずつ料理を皿に載せて何度もテーブルに取りに行く。また、ほかの学園艦では金曜日にカレーを食べることが多いが、ヴァイキング高校では木曜日がスープの日となっている。特に、伝統的な黄色いえんどう豆のスープ、アートソッパをパンケーキと共に食べるのが好まれている。シーフード好きでも知られ、特にニシンや鮭は特産物である。また、生徒の生活環境の向上に力を入れており、学園艦の学費は無料となっている。それを目的に、入学する生徒もいるほどである。

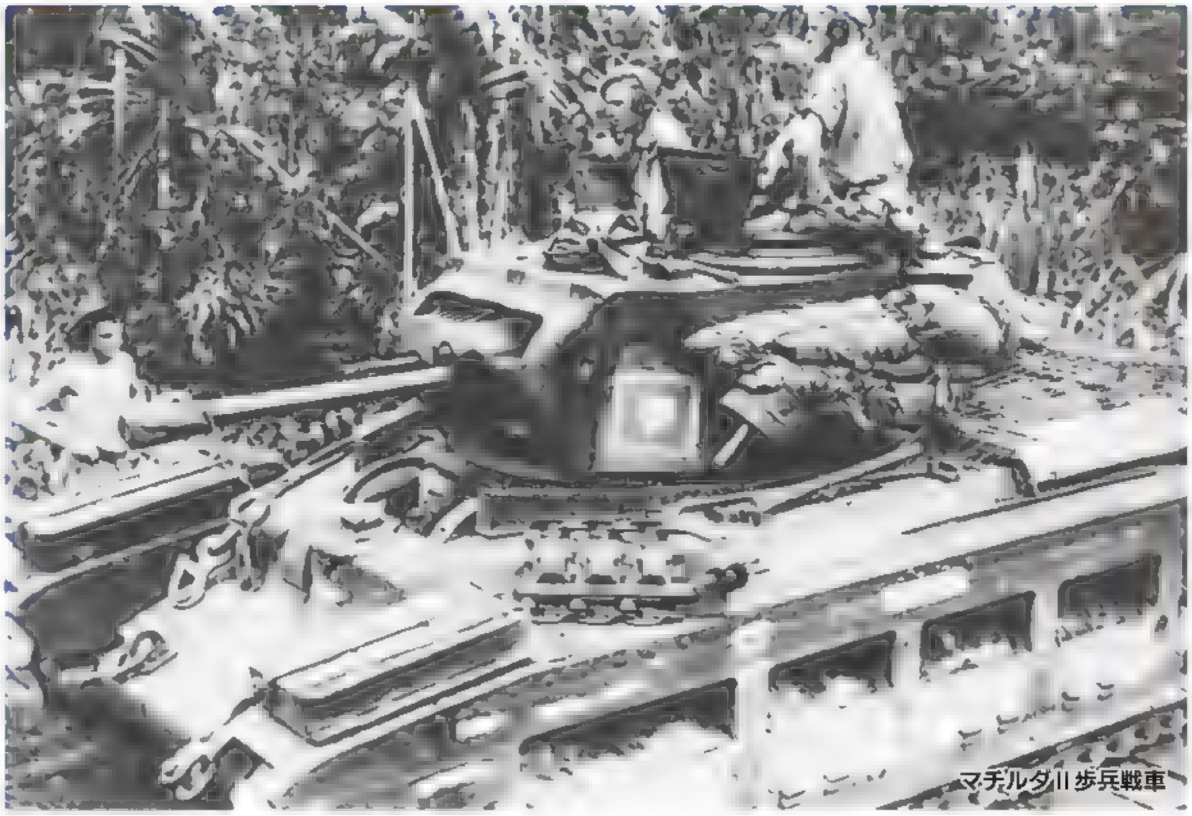
NbFz 戦車

1940 年、ドイツがノルウェ　に侵攻した際、試験投入された多砲塔戦車。正式にはNeubauFahrzeug(ノイバウファールツォイク)。ドイツ語で「新式車輌」を意味する。独特な主砲の配置が特徴で、車体中央に7.5センチ砲、右前部と左後部に3.7センチ砲を装備していた。だが戦闘の結果、電撃戦に向かないとされ、生き残った車輌は本国に送還された

コアラの森学園

Koala Forest High School

コアラの森学園の使用戦車



マチルダⅡ歩兵戦車

イギリスから購入した学園艦を使用するコアラの森学園は、鳥取港を母港としている学校。

保有車輌はマチルダⅡ、M3軽戦車、M3中戦車など色々なタイプを揃えている。それ以外にオーストラリアが独自開発したセンチネル巡航戦車も保有している。その中でも、AC Ⅲ型に25ポンド砲を二門搭載した試験用車輌を保有しているのでも有名である。連装砲が実戦で有効かどうかは何とも言えないが、その特異な形状からファンも多い。もっとも、あまり試合にこの車輌が出て来ないところを見ると、コアラの森学園も運用に苦慮しているものと思われる。また、最近はM4シャーマン中戦車の購入を検討しているとの噂もあり、イギリス戦車からアメリカ戦車中心にシフトするのではないかとも言われている。それもあってか、過去には色々と協力関係にあった聖グロリアーナ女学院との仲はやや疎遠になっており、むしろサンダース大学付属に接近しているとも。変わったところでは一部のイタリア戦車も保有していたが、近年アンツィオ高校に売却したとも言われている。

校風は比較的開放的でフレンドリー。どこか、のんびりしたところがありつつも効率主義である。また、すぐに誰とでも友人になりたがり、相手と対等かつ平等でありたがる。そのため上下関係が緩く、上級生と下級生の間でも対等に話そうとするので、ときどき新入生が苦労している姿が見られる。戦車道でも、隊長と隊員という関係よりも対等な仲間同士であろうとして、全員が一斉に行動することが多い。それもあってか戦法は勇猛果敢で、立ち塞がる全ての戦車を蹂躙して前進することをモットーとしている。全体の士気も高いので、上手く勢いに乗った時は極めて高い突破力を発揮する。生徒たちは精強で粘り強いが、突破力が失われた時は意外と脆い。また損害を顧みずに突進するため、より強力な戦力と当たった際は、一方的に殲滅されることもある。考える前にまず試してみるのが好きで、失敗しても色々と手法を変えて成功するまで試行錯誤する柔軟さがある。その気質によって、風変わりな作戦を採用することも珍しくない。これもうまくはまると良い結果を残すが、はずすと明らかに格下の相手に大敗北することもある。

なお、特に乾燥した砂漠地域での戦闘に優れており、そのような地形での試合になると、同じく砂漠に慣れているはずのアンツィオ高校より強いことも。

また、何かあるたびにバーベキューをすることでも知られており、サンダース大学付属の生徒たちとはバーベキュー友達である。ただし、食に関しては必ずベジマイト(濃い茶色の塩辛いペースト)が出てくるため、苦手な人は極力逃げようとする。だが、特産のカレーは大人気で、学食では日替わりカレーが3種類あるほど。元々のメニューと合わせると1ヶ月毎日違うカレーを食べることができる。またカニと白イカも特産で、これらを使ったカレーもある。

マチルダⅡ歩兵戦車

聖グロリアーナの主力として知られる、イギリスの戦車。英連邦王国に所属するオーストラリアは、イギリスより各種戦車が供与されていた。マチルダⅡもその一つで、日本軍が侵攻する東部ニューギニア戦線に投入された。有効な対戦車砲を持たない日本軍は、マチルダⅡの猛攻撃を受けて敗走。東部ニューギニアからの撤退を余儀なくされた

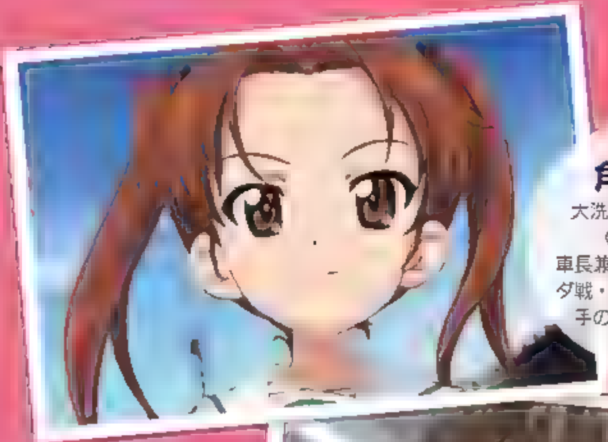
語る KATARU

第1回 ウサギさんチーム



I ♥ PANZER 大洗女子チームメンバー

戦車愛を
SENSYA AIWO



角谷 杏
大洗女子学園 3年
〈生徒会長〉
車長兼通信手。プラウダ戦・黒森峰戦では砲手の腕前もみせた



小山 柚子
大洗女子学園 3年
〈生徒会副会長〉
操縦手。
ほぼ、 人で生徒会の雑用をこなす

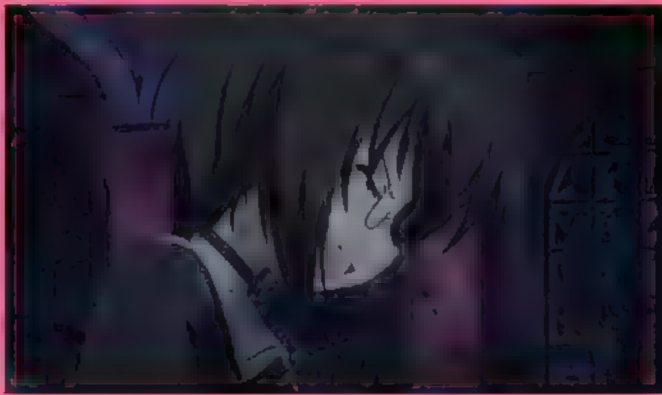


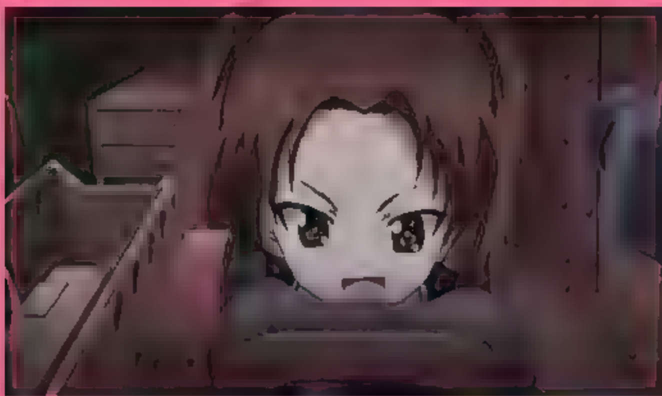
河嶋 桃
大洗女子学園 3年
〈生徒会広報〉
砲手兼装填手。
戦車道チームの副隊長も務める

試合を重ねるごとに、
深まっていった戦車への愛着。
ここでは、つねに前線で戦い
全国大会優勝を掴んだ
カメさんチームに、
戦車への思い入れを
語ってもらいました。



「コンパクトでパワフル、素早く動いて強力な一撃を叩き込む。まるで会長のようです」







大洗 自動車部員の戦車整備録

え、カメさんチームの戦車について聞きたい？　そうだね、あれは面倒だったね〜。元々の38（t）自体は良い車輌だよ。機動力と信頼性は十分以上だし、装甲品質が今一つとかリベット留めのせいで防御力に問題があるとか言われるけど、戦車道ではあまり問題じゃないんじゃないかな？　10トンもないような軽戦車なんだから、大した装甲なんてできるわけがないしね。軽戦車は速度と機動力を生かして、敵の弾に当たらないように常に動き回るのが必須らしいからね。間違っても、脚を止めてヘビー級となぐり合うようなのは絶対にやっちゃいけないよね。

ただ、元の車輌が色々なパーツからでっちあげたみたいで、何と言うか原型がよく分からないんだよね。車体部分は、製造番号を見ると自走砲から持ってきたような気がするし、それに前面装甲とか砲塔とか余っていた初期型のパーツを組み合わせて作ったみたいだね。まあ、実際パーツのサイズさえあえば、別なタイプのを使うなんて自動車でも珍しいことでも無いから、ウチの学校でそうなったのか、購入した時からそうなのかは分かんないんだけどね。エンジンも、オリジナルのプラガEPAじゃなくEPA2みたいになってるし。ま、それを完全にオーバーホールして、ついでにカリッカリにチューンナップしてあるんだけどね。多分20%は出力アップしてると思うよ〜。ギアとかもかなり調整したし、サスペンションも強化して、会長のリクエストの「とにかく機動力を」ってのをかなえるために、色々改造したよ。重量バランスもいじって、不整地走行能力も向上させたし。

それより大変だったのは、ヘッツァー改造キットかな。あれ自体は戦車道連盟公認改造キットだから、ある程度の技術力があれば乗せ換えるのは難しくないんだけど、そのままだとどうしても右前が重くなりすぎて、重心位置が物凄く悪くなるんだ。なのに会長は元の38（t）並みの機動力を要求してくるんだから、おもしろかったけど大変だったよ。砲の位置や装甲を調整して、少しでも中央に重心が来るようにして、こっそり軽量化できるところは軽量化しているからね。これで雨でも泥でも平気ってね。



大洗女子学園 3年
自動車部所属 ナカジマ談









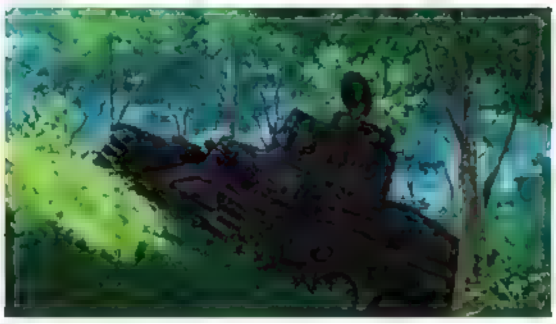


ヘッツァー仕様への改造

決勝戦を前に戦力を増強したい大洗女子は、各クラブから提供された義援金で、ヘッツァー改造キットを購入した。本来、見た目が似ているだけで別仕様の足回りである38(t)戦車とヘッツァーだが、自動車部の驚異的な技術力で問題を克服。さらに軽快な機動力を手に入れた







発見時はボロボロ

華が鉄と油の匂いを頼りに、発見したのがチェコ製の38(t)戦車B/C型。火力と装甲、機動力のバランスが良い小型の戦車だが、長い間放置されていたためサビだらけ。洗浄やサビ落としは柚子が手がけたものの、一晩で整備した自動車部の苦労は、相当のものであっただろう



ガルパントピックス

ガルパン関連の情報をお届けする本コーナー。今回は、この夏に発売が迫るOVAとゲームを中心に、注目の情報をお伝えします。

アンチョビ

自らを総帥(ドゥーチェ)と呼ぶ、アンツィオ高校の隊長。鉄壁の防御を誇るマジノ女学院を破った勢いで、二回戦の大洗女子に挑む





原画 伊藤岳史　CG 柳野啓一郎(グラフィニカ)
仕上 原田幸子　特効 古市裕　背景 岩橋栄治(スタジオちゅーりっぷ)　監修 杉本功

みほ以外の私生活がOVAで判明!

大洗女子とアンツィオ高校との戦いが描かれるOVAが、いよいよ7月に発売される。その気になる内容だが、迫力ある戦闘シーンはもちろんのこと、大洗女子の知られざる一面も描かれるようだ。

とくに、注目したい点は大洗女子各メンバーの私生活。TV版では、みほの部屋であんこうチームが食事会を開いていたが、今回のOVAでは、それ以外のメンバーにもスポットが当てられる模様だ。

また、アンツィオ高校の実態も判明する模様。アンチョビたちが、どのような高校生活を送っているかも、ポイントの一つ。OVAの発売が、今から待ち遠しい!

OVA
ガールズ&パンツァー これが本当のアンツィオ戦です!

アンツィオ高校の使用戦車



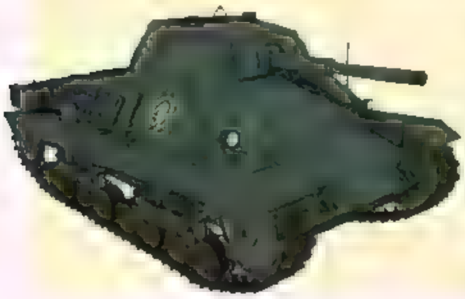
CV33 快速戦車

偵察・警備用の軽車両として、イタリア軍で開発された豆戦車(タンケッテ)。軽装甲の上、武装は2連装8ミリ機関銃と貧弱で、対戦車戦能力は皆無である



セモヴェンテd75/18 自走砲

第二次世界大戦時、北アフリカ戦線で活躍したイタリア軍の自走砲。ドイツ軍のIII号突撃砲を参考に開発され、M3中戦車やM4シャーマンと互角に戦った



P40

75ミリ砲を装備した、イタリア軍唯一の重戦車。M4シャーマンにも対抗できるはずだったが、イタリア降伏直前からの生産だったため、完成車輌数はわずかであった

アンチョビを支える仲間たち



ペパロニ

パスタ料理が得意な、元気のいいチームの副隊長。アンチョビに忠実で、「姉さん」と慕っている



カルパッチョ

友情を大切にする、真面目な性格の持ち主。チームの副隊長でもあり、的確な指示で全体をまとめている

ガールズ&パンツァー これが本当のアンツィオ戦です!

7月5日(土)より全国12劇場にてイベント上映開始!

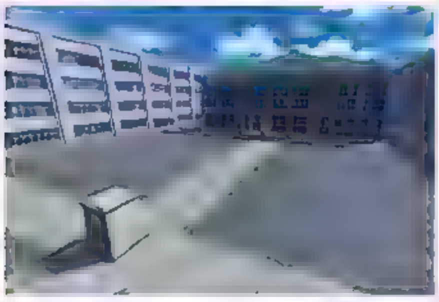
待望のOVAイベント上映が、7月5日スタートに決定。さまざまな戦術を駆使する大洗女子とアンツィオ高校の激闘が、高品質の音響と大スクリーンで堪能できる。詳細は、追ってお知らせします

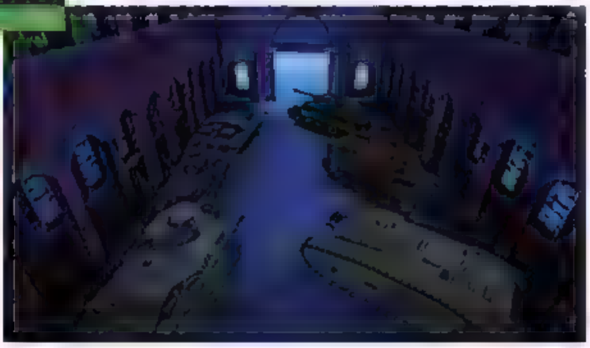
- ●東　京:シネマサンシャイン池袋
- ●東　京:新宿バルト9
- ●東　京:TOHOシネマズ渋谷
- ●東　京:TOHOシネマズ日本橋　※2014年3月20日(木)グランドオープン予定
- ●茨　城:シネプレックス水戸
- ●横　浜:横浜ブルク13
- ●川　崎:川崎チネチッタ
- ●千　葉:京成ローザ⑩
- ●埼　玉:MOVIXさいたま
- ●大　阪:梅田ブルク7
- ●京　都:T・ジョイ京都
- ●名古屋:伏見ミリオン座



ストーリーモード

ストーリーモードでは、聖グロリアーナ戦のほか、八九式中戦車が大活躍したプラウダ戦や、感動の一騎討ちで締めくくられた、黒森峰戦が体験できる。プレイヤーの操作次第で、大洗女子の運命は、大きく変わっていくだろう。

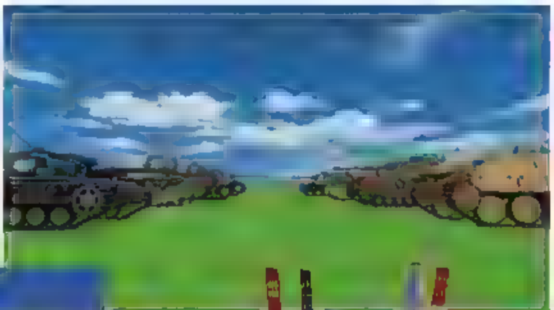






バトルロイヤルモード

総数30輌以上の戦車が参戦予定のバトルロイヤルモードは、手に汗握る戦車戦を心ゆくまで楽しみたいプレイヤー向け。自分だけのチームを結成して夢の対戦を実現できるうえ、大洗女子同士のバトルも満喫できるようだ。



PS Vita





あの感動と興奮を3DCGで表現!

本作は、プレイヤーが3DCGで再現された戦車を操り、数多くのフィールドで、戦車戦を楽しめるアクションゲーム。TV版で描かれた、大洗女子の全国大会優勝までを追体験できる「ストーリーモード」のほか、自分で戦車をチョイスして、戦い合わせることが可能な「バトルロイヤルモード」が存在する。

もちろん、熱狂的なファンが多いガルパンだけに、3DCGの戦車や各フィールドはTV版に合わせて忠実に再現されている。とくにストーリーモードでは、TV版第4話に登場した大洗町が登場。アニメで味わった興奮と感動が、再びよみがえること間違いなしなのだ。

豪華なお宝てんこもり

初回限定版「ライバルは宝物BOX」は、オリジナル特典映像DVDや、描き下ろしビジュアルお風呂ポスターなどを含む豪華特典付き。この機会を、お見逃しなく!

※写真・イラストはイメージです。実際のものとは異なる場合がございます。
※内容・仕様は予告なく一部変更となる場合がございます。
※数に限りがございます。なくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。

お風呂ポスターには、各チームのリーダーが描かれています



3月30日の海楽フェスタに再びガルパンが参戦!

昨年、町中に54体ものキャラパネルを展示して、話題を呼んだ海楽フェスタに、今年もガルパンが登場予定。ステージイベントのほか、商店街でも前夜祭も含めた独自企画を計画中のようだ。昨年のあんこう祭で、10万人もの人々が集まっただけに、今回の海楽フェスタでも、多くの人出が見込まれるだろう。



※画像は去年の様子です

アイテム情報

ガルパンの秘密
～"美少女戦車アニメ"のファンはなぜ大洗に集うのか?～

2014年3月17日発売予定
900円(税抜)　発行:廣済堂出版

異例のヒットとなった、「ガールズ&パンツァー」にかかわった、水島努監督を始めとする、さまざまな関係者に長時間のインタビューを敢行。その証言から浮き彫りになる「ガルパンの秘密」とは・・・。先行初回限定版には、オリジナル転写シール(日本戦車道連盟)付き!



ガールズ&パンツァー スイング

デフォルメされた、かわいいあんこうチームのマスコットが登場。



●カプセル商品　●200円(税込)
●3月下旬予定　●全5種　●発売元:バンダイベンダー事業部

「戦車道」がボードゲームになって登場!



ガールズ&パンツァー 戦車道ゲーム『大洗大作戦!』

●プライズ景品　●2月25日登場予定
●全1種　●展開元:バンプレスト

ガールズ&パンツァー でふぉめか ちびパンツァーフィギュア vol.1

●プライズ景品　●2月25日登場予定
●全4種　●展開元:バンプレスト



ヒロインが、デフォルメフィギュアで立体化。キャラは戦車に搭乗可能!

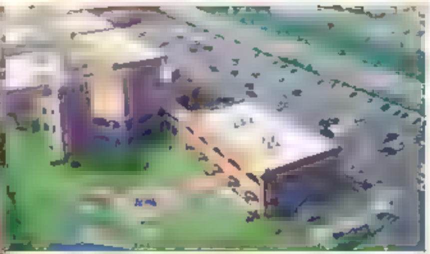
ガルパンメイキングログ【大洗ロケハン編】

2011年5月21日

この時点での制作状況は、まだプロットの作業中で、杉山Pがスタッフに舞台を大洗町にと提案していた段階であった。そこで、杉山Pが単独で大洗町を取材。まだ震災の傷跡が残る風景を撮影した。







マリンタワーから、リゾートアウトレットを写した風景。偶然だが、不思議とアニメ場面と一致している

2012年1月19日

本格的なロケハンは、この日が初めて。強風が吹く中、常盤良彦氏の案内で精力的な取材が暗くなるまで続けられた。その結果、数多くの資料が劇中のシーンに生かされた。

大洗リゾートアウトレット







TV版では登場しなかった、クレープ屋も取材。BD&DVDの特典OVA第1巻の場面で描かれた





取材は、リゾートアウトレットからスタート。マーケットガーデンの看板や、まいわい市場周辺を撮影した



大洗マリンタワー





ロケハンにとってマリンタワーは、重要なポイント。展望台から眺めることで街全体を把握し、戦車の走行手順を検討していた

コンテナ埠頭付近







ダージリンと別れる場面で登場したコンテナ埠頭付近は、あらゆる角度から撮影。細部まで写真を撮る、水島監督の姿が印象的である

昼食時の写真も活用





多少具材は違っているが、食器類は第1話での学食シーンと合致。たとえ昼食中でも、スタッフは貪欲にロケハンを続けていた

舞台が大洗町に決定した理由とは!?

繊密な作画を維持するには、綿密な取材が必要なもの。それが、実在する町を舞台にするのなら、なおさらである。それはガルパンでも例外ではなく、大洗町へは何度かスタッフがロケハンに訪れている。その中でも杉山潔プロデューサー（杉山P）は、震災から2ヶ月後の2011年5月21日に、大洗町を訪れている。

「大洗町にはこじんまりとした街中にマリンタワーのようなランドマークがたくさんあり、アニメの舞台に適していると感じました。町の方々も一緒に、ガルパンを少しでも楽しんでもらえればとも思いました」（杉山P）

実際に杉山Pの取材後、水島努監督も単身大洗町を訪問。最終的にアニメの舞台として決定した。

その後、2012年1月19日に水島監督を始め、おもだった作画スタッフが本格的なロケハンを開始。膨大な数の写真や動画を撮影した。それらの資料は、ガルパンを成功に導く大きな土台となっていった。



常盤氏の説明に耳を傾けながら、水島監督は撮影に没頭。ガルパンの映像として使える場所を探していた





列車は入線していなかったものの、ホームの様子は背景用の資料として活用されていた

列車内の細かいディティールは後日取材

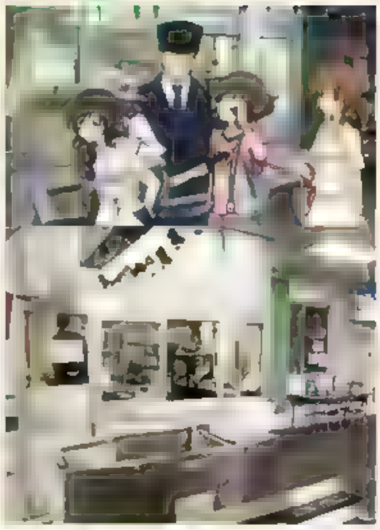




のちに列車内の資料が必要となったため、3月29日に追加取材を実施。スタッフが多忙のため、杉山Pが撮影を行った

大洗駅





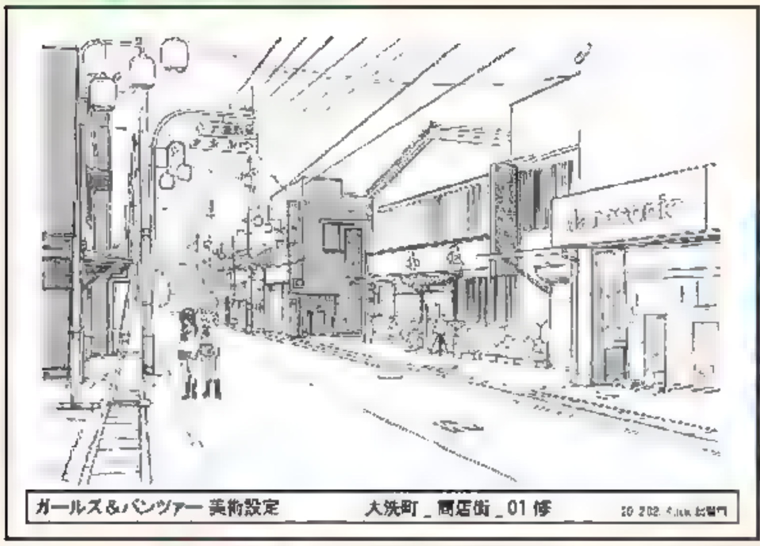
売店や改札口、モニュメントは、第7話に登場。大洗の玄関口だけに、撮影枚数はかなりの量となった





シンボリックな駅前のモニュメントは、TV版だけでなく、第4巻の特典OVAでも使用された

若見屋交差点付近





美術設定や映像と見事に合致した、交差点付近のロケハン写真。商店街の雰囲気や詳細を示す、貴重な資料となったようだ

実はロケハン時、脚本は完成していなかった。それだけに若見屋交差点では、映像化した際のイメージを重視した撮影が行われた



肴屋本店

戦車が突っ込むのに最適な場所という要望を受けて、常盤氏が推薦したのがこの肴屋本店。ロケハンも、動画を交えて入念に行われた

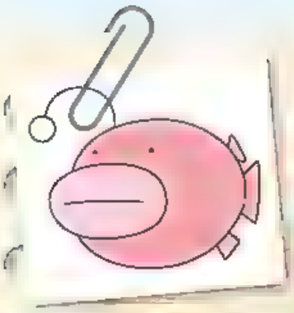


魚忠



脇の路地のほか、店内の様子も撮影。それ自体は本編に反映されなかったが、魚忠を始め町内の雰囲気を各スタッフに伝える手がかりとなった





Girls und Panzer Event Report

ガルパン・イベントレポート

活気に満ちた昨年のあんこう祭を始め、ゲームや東京モーターショーなどのイベントを紹介。特別にあんこう祭に参加した、あんこうチームキャストのインタビューもお届けするゾ!!

第17回大洗あんこう祭開催

大盛況!!

2013年11月16日、大洗町で開催されたあんこう祭では、さまざまな関連イベントが行われた。その中で最大の盛り上がりを見せたのが、メインステージ。渕上舞さんを含めたあんこうチームキャスト5人のほか、OP主題歌を歌うChouChoさん、挿入歌のあんこう音頭を歌う佐咲紗花さんをひと目見ようと、10万人もの観客が集まった。

今までにない歓声に包まれた中上育実さんが、挨拶で「ヒャッホォォォウー最高だぜぇぇぇ!!」と絶叫。続く新情報の発表では、各キャストがOVAで登場する新キャラや、PS Vitaでのゲーム化などをプレゼンした。その後、ChouChoさんや佐咲紗花さんが美しい生歌を会場に響かせる。最後は、お約束の掛け声「パンツァーフォー」で、イベントは締めくくられた。



大盛り上がりのトークショー



前回のあんこう祭に引き続いて登場したメインキャストの5人は、今回の感想を交えた軽快なトークを展開すると共に、大洗町や集まった観客への感謝を語った



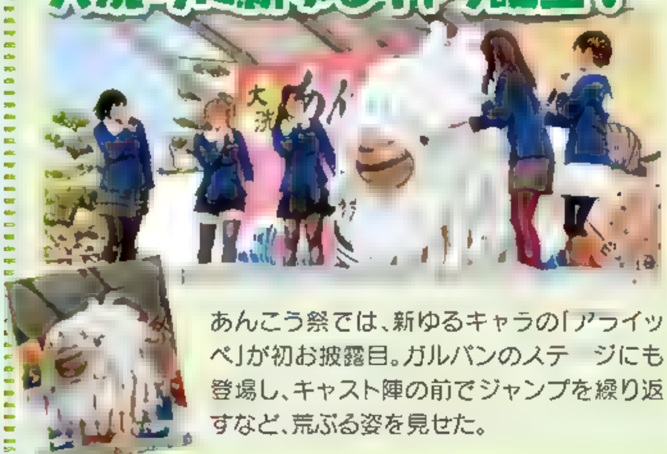
アーティストたちの美声にヒートアップ



ハッピ姿の佐咲さんは「あんこう音頭」で楽しさを、ChouChoさんは「DreamRiser」でポップなひと時を観客に届けた

大洗町に新ゆるキャラ誕生！





あんこう祭では、新ゆるキャラの「アライッペ」が初お披露目。ガルパンのステージにも登場し、キャスト陣の前でジャンプを繰り返すなど、荒ぶる姿を見せた。





各特設ブースも大勢のファンでいっぱい



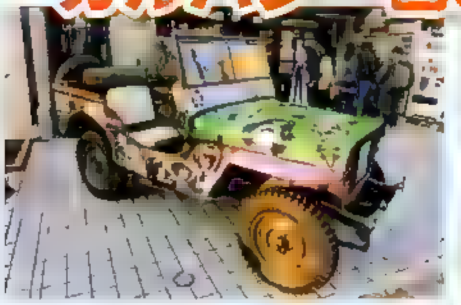
「Wor d of Tanks」の試遊コーナーや、才谷屋龍一(本編コミック作者)、弐尉マルコ(もっとらぶらぶ作戦です!作者)両氏のサイン会も大賑わい





モデルカステン主催の模型早作りコーナーでは、佐々木あけび役の中村桜さんがプロモデラーのPOOH熊谷さんらと共に「はっきゅん」こと、八九式中戦車の製作に挑戦。手を動かしながらも、観客との会話も忘れない中村さんはプロ顔負けの腕前を披露。終了時間の15時までに、見事な八九式中戦車を完成させた

ガルパン一色となった大洗町







商店街では、公式のガルパン痛車がファンをお出迎え。キャラや戦車のパネルがいたるところに飾られており、町をあげてガルパンと共に盛り上がった

10時30分と14時の2回に分けて行われた、佐咲紗花さんの握手会はどちらも長蛇の列ができる盛況ぶり。一人ずつていねいに会話を交わしながら応対する佐咲さんは、終始笑顔でファンとの交流を楽しんでいた

World of Tanks 日本戦車ツリー点灯式

全世界7500万人が熱狂するオンラインゲーム「World of Tanks」の、日本戦車実装を記念した「日本戦車ツリー点灯式」が、2013年12月18日、東京・秋葉原で行われた。この点灯式にはウォーゲーミングジャパン代表取締役社長の川島康弘氏、中村桜さん、杉山Pが出席。集まった多くの報道陣の前で、ガルパン声優陣による、音声MODの収録が進行中と発表された。またこの日から1月5日まで、秋葉原の店舗計14店にて「World of Tanks meets ガールズ&パンツァー 秋葉原上陸作戦です!」キャンペーンを展開。各店舗による独自企画で、多くのファンを楽しませた。







クリスマスツリーにちなんだ日本戦車ツリーの台座は、なんと八九式中戦車。銀色の戦車型オーナメントも、ツリーにところ狭しと飾られていた

ガルパン・アルティメット・ガイドナイト

「ガルパン・アルティメット・ガイド」と「大洗ガルパン・トラベルガイド」は好評発売中



「ガルパン・アルティメット・ガイド」(廣済堂出版)の出版を記念したイベントが、2013年11月19日、お台場・東京カルチャーセンターにて開催。出席した、編集担当の武田頼政氏や杉山P、廣岡祐次宣伝プロデューサーが制作裏話を語った。

東京モーターショー2013



専用アプリには渕上舞による、オリジナル音声も収録。ARカメラ機能で、コンパニオン姿のみほとの写真撮影も可能だ





2013年11月23日～12月11日の「東京モーターショー2013」では、三菱自動車がガルパンとのコラボを実現。専用無料アプリ「自動車道　三菱流」をダウンロードすることで、コンパニオンのコスチューム姿のAR西住みほが、二次元コンパニオンとして展示車を紹介した。

あんこうチームスペシャルインタビュー in あんこう祭2013

第16回・17回と2年連続であんこう祭に参加されたメインキャストを直撃!!
イベントが終わった直後のご感想を伺ってみました。



―今回のあんこう祭に、参加された感想を教えてください。

渕上　前回のあんこう祭もたくさんのお客様が集まってくれましたが、今回は去年以上で本当にびっくりしました。

茅野　とにかく人、人、人で、ガルパン愛に溢れた感じでした。また、あんこう汁を配るところが見えていたので、大洗だな〜としみじみ感じました。

尾崎　大洗町ならではの、アットホームな雰囲気ですよね。

中上　前回が6万人と聞いていましたが、自分の体感では倍ぐらい。町中で盛り上げてくれているのが、うれしく感じました。

井口　それに青空の下で、OP主題歌を歌うChouChoさんや、あんこう音頭を歌う佐咲紗花さんと一緒だったので、よりガルパンらしさが出たと思いました。

ずっとあんこう祭に参加できるよう、OVAや劇場版をステキな作品にしたいと思います。

―今回は、10万人ものお客様が集まったそうです。

中上　倍っていうのは、あながち間違っていないんですね。

井口　ステージでお客様に聞いたとき、北海道や九州から来られた方もいらっしゃいましたね。

―ガルパンが、ここまで愛される理由はどこにありますか?

井口　キャラや戦車の魅力とか。

尾崎　あと、大洗町のご協力も大きいですよね。

茅野　何か一つに、決められないですよね。

渕上　アニメにそれほど興味がない方も、戦車や模型が好きで見てくださったり、その逆もあったり。

中上　間口が、広いんですよ。

井口　それにスタッフの皆様が、愛とこだわりを込めて制作していらっしゃるところが、一番大きいかと思います。

―大洗町の魅力も、大きいかと思います。

尾崎　最初は聖地巡礼のつもりでも、リピーターになってくださる方が多いですよね。

中上　移住された方も、いらっしゃるとか。

尾崎　それだけ、ファンが大洗町を愛している証拠ですよね。



―そんな大洗町に、アライッペというゆるキャラが誕生しました。

茅野　動きが、激しかったよね。

尾崎　ジャンプしていたよね。

渕上　しかも、結構大きい。

井口　でも白いから、汚れが心配ですね。

尾崎　こまめに、お風呂へ入った方がいいかも。

渕上　茹でられたりして(笑)。

尾崎　あぁっ、シラスのゆるキャラだけに釜揚げだ。でも、アライッペのグッズとかできるんでしょうか?

中上　そうだ、モップのようなお掃除道具とか(笑)。

茅野　それ、ガルパンとコラボできたらいいですね。

井口　みほが、お部屋を掃除するときにアライッペを使うとか。ぜひ、コラボしてみたいですね。

―OVAでは、いよいよアンツィオ高校と対戦します。どんな、相手になると思いますか?

中上　アンチョビは、ちょっとヤンチャなイメージですよね。

尾崎　カルパッチョやペパロニは、落ち着いた印象ですね。

井口　でも、イタリア色は出してくるんじゃない?

茅野　ピザやパスタを食べながら登場するとか。オペラとか歌っていると、おもしろそうですね。ガルパンでは、各チームのモチーフになった国の歌を歌うことが多かったので。

渕上　TV版では、2カットだけの登場でしたので、どんな戦いになるのかも興味深いですね。

中上　調子に乗せると、怖いタイプなんですよね。

尾崎　まさにイタリアって感じですね(笑)。

―では、最後に読者へのメッセージをお願いします。

井口　放映開始から1年半くらい経ちますが、月刊戦車道が生まれたりと、うれしいことが続いています。私たちもアフレコなど大事に噛み締めながら、皆様に恩返ししたいです。

中上　私は、ガルパンが始まってからワクワク感が1年半以上も続いているので、楽し過ぎて早死しないかと心配です(笑)。本当に楽しいことばかりなので、私自身楽しみつつ皆様の期待に応えていきたいです。

尾崎　私にとってガルパン、初のレギュラー作品でしたので、思い入れもひとしおなんです。それだけに、皆様に愛していただけて、本当にうれしいです。

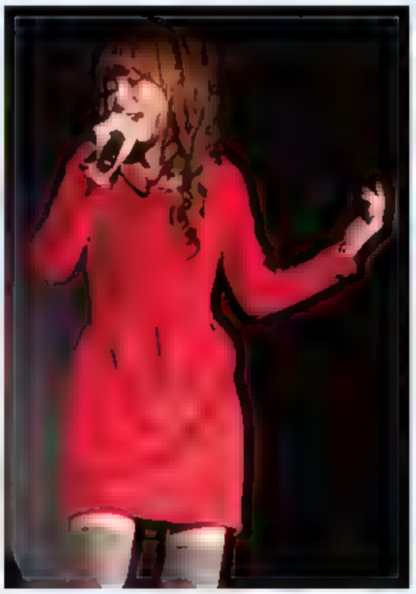
茅野　今回のあんこう祭もそうですが、イベントごとにファンの愛情を感じています。私としては、もっとガルパンの良さをもっと広めるため、声のお仕事を頑張りたいと思います。

渕上　こんなに、盛り上がれる作品になったことを、私も光栄に思っております。また来年と言わず、ずっとあんこう祭に参加できることを夢見ながら、OVAや劇場版をステキな作品にしたいと思います。



バックトゥザ カーニバル BACK TO THE CARNIVAL

これまでに行われた過去のイベントを、6回に渡って紹介する連載特集がスタート。今回は約1年半前に開催された、先行上映会とあんこう祭を振り返ってみます。



ChouChoさんの参加は秘密だったが、杉山Pがツイッターでつぶやいてしまったため、廣岡宣伝Pに怒られたそうだ

第1話先行上映イベント

2012年9月23日　東京・豊洲

放送に先立ち開催され初のイベントとなった先行上映会は、あいにくの土砂降りに見舞われた。関係者はどうなるかと肝を冷やしたが、会場は興味津々の観客で満員。あんこうチームのトークや、生歌では初披露となったChouChoさんの歌うOP曲が会場を盛り上げた。







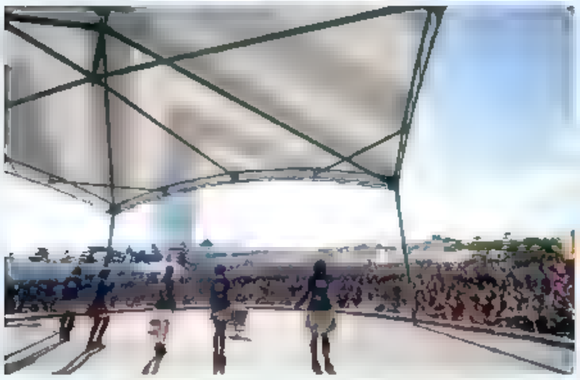


ドキドキしながら、トークにのぞむ5人のメインキャスト。演じるキャラの紹介や、女子率の高いアフレコの様子など、貴重な話題で観客を沸かせた

第16回あんこう祭

2012年11月18日　茨城・大洗町

ガルパンの放映も中盤に差しかかった頃に行われたあんこう祭では、人口1万8千人の町に6万人もの観客が集結。誰もが予想外の人手に、関係者は驚きを隠せなかった。用意したグッズもほぼ午前中には売り切れてしまったが、マナーのいいファンのおかげで、混乱もなくイベントは終了。様子を見ていた関係者の中には、感激のあまり涙をにじませる人もいた。





まいわい市場前でのトークショーでは、強風の中地元ボランティアスタッフが活躍。キャストの裏に飾られた横断幕を支えるなど、イベントの進行に貢献した




ラッピング列車のお披露目式で渕上さんは、照れくさくてファンとまともに目を合わせられなかったそうだ



PROJECT G
Supporters of Girls und Panzer

ガルパンを盛り上げた方々を、お二人ずつ紹介。今回はOP主題歌を歌うChouChoさんと、「金アーミー戦車」を製作した今村和章氏にスポットを当ててみました。



ChouCho

ちょうちょ ◎ アーティスト

6月21日生まれ。大阪府出身。2011年、TVアニメ「神様のメモ帳」のOP主題歌「カワルミライ」でデビュー。透明感と情感のこもった歌声と音楽性で、多くの聴衆を魅了する。
オフィシャルWEBサイト ● http://lwh-music.co.jp/choucho/

どんどん熱量が増すファンのガルパン愛

――昨年のあんこう祭に参加された、感想を教えてください。

想像をはるかに越えたお客様の数に、驚くと同時に緊張してしまいました。ただ、本当に大洗町やガルパンが大好きな方々が、10万人も集まっていることにすごく感動しました。

――ステージ上から見た風景を、どのように感じましたか？

普段のライブ会場と違って、遠くにいらっしゃるお客様のお顔まで拝見できたのが新鮮でした。それに、野外だと風が心地よくて、開放感もありますね。だから、のびのびと歌うことができました。

――大洗町のイメージは？

移動中のバスから町の様子を見たのですが、いたるところにキャラや戦車のパネルが飾ってあって、大洗町のガルパン愛を、ひしひしと感じました。名物のあんこう鍋も、すごくおいしかったです。

――ガルパンのイベントに参加されるごとに、何か新しい発見などありましたか？

イベントを重ねるごとに、どんどんファンが増えていますね。普段のライブでも、OP主題歌「DreamRiser」を歌わせていただいているのですが、一番盛り上がるんですよ。ガルパン愛が、より熱く、より広がっている感じですね。

一瞬の勢いに賭けたレコーディング

――すこし過去を振り返りますが、最初に「DreamRiser」の歌詞を読んだとき、どんな印象を持ちましたか？

女の子が前向きに頑張っている内容に、すごく共感を覚えました。とくに、2番の「透明なこの道を、自由自在ジブン次第」が好きなんです。自分の心がけや気持ち次第で、変わっていける。これは、私の中で一番大切にしている思いでもあるんです。自分で作詞するときも、こういう思いを込めているので、すごくシンパシーを感じました。

――実際の、レコーディングではいかがでしたか？

テイクを重ねることよりも、テンション重視で臨みました。長時間、感情を込めて歌うのは難しいことなので、短時間のうちに、気持ちが最高潮に達したタイミングで仕上げることを心がけました。

――初めて、OP映像を見たときの感触は？

本放映で初めて見たのですが、映像のテンポがよくて、なおかつ戦車がすごくフィーチャーされている。それに、映像と曲がリンクすることで、より世界観が広がっていく。こんなにも、開放感あふれるすばらしい映像がついたことに、すごく感動しました。

――本編では、どんなところに魅力を感じましたか？

女の子たちが全員個性的で、かわいいなと思いました。その中でも、プラウダ高校のカチューシャちゃんが、すっごくかわいいですね。ちっちゃいけど、周囲が彼女の言動に振り回されている感じがお気に入りのポイントです(笑)。それに、プラウダ戦のストーリーも大好きです。強力なプラウダ高校を相手に、大洗女子が雪原の中でどうやって戦うのか、ハラハラしながら見ていました。

――そのほかで、お気に入りのシーンはありましたか？

女の子同士の、日常会話ですね。第3話で、戦車の中にクッションなどを持ち込んで飾り付けたりするシーンを見て、戦車道をしているけどみんな女の子なんだなぁと和んでしまいました。



アルバムタイトルに込めた思いとは!?

――現在発売中の2ndアルバム「secretgarden」には、「DreamRiser」も収録されています。全体では、どんな内容になっていますか？

今回のアルバム制作にあたり、改めて収録曲の歌詞を読み返していたら「信じる」というワードが共通点になっていると気づいたんです。そこで、「信じる」をテーマに、アルバムを作っていきました。表題曲で作詞・作曲した「secretgarden」のほかにも、いくつか作詞した楽曲があるのです



プロジェクト
～ガルパンを支えた人びと～

話数を追うごとに、馴染みのなかった戦車や女の子同士の友情物語に魅せられました。

が、私の「信じる」という思いが詰まった、アルバムになっています。

――「secretgarden」というと、フランシス・ホリゾン・バーネットの小説「秘密の花園」が思い浮かびます。なぜ、アルバムのタイトルに選んだのですか？

アルバムの6曲目に、私が作詞した「Cocoon」（6ｔｈシングル「空と君のメッセージ」カップリング）という曲があるのですが、表題作の「secretgarden」を、こちらのアンサーソングにしたいと思ったんです。「Cocoon」という曲は、白い繭の中に閉じこもり、外に出たいけど出られない男の子をテーマにしているんです。そこで、繭から出ておいでという曲を考えていたとき「秘密の花園」で主人公の女の子が、病弱な男の子を秘密の花園に連れて行く物語とリンクすると気づいたんです。それが「secretgarden」という曲を作ったきっかけであり、タイトルに選んだ理由でもあるんです。1ｓｔアルバムの「flyleaf」でも、タイトルに「リーフ」と自然的な要素を入れたので、私の「ChouCho」という名前とのつながりも考えて「secretgarden」に決めました。

――4月から、単独ライブツアーも始まります。今の意気込みを教えてください。また、どんなライブにしたいと考えていますか？

今回で2回目の単独ライブなので、ライブパフォーマンスを、前回よりもステップアップさせたいです。もちろん「DreamRiser」も、お客様と盛り上がりたいですね。あと、アコースティックなコーナーを設けて、じっくりと聴かせるパートと弾けるステージと、一度おいしいライブにしたいです。

――現在「DreamRiser」は、ご自身の中で、どんな存在になっていますか？

ライブでは「DreamRiser」を歌い出した瞬間が、一番盛り上がるんですよ。皆様に愛される曲をいただけてうれしく思いますし、私の代表曲になっているんじゃないかなと思います。

――カラオケで、歌われるファンも多いかと思います。何か、アドバイスなどありますか？

レコーディングの話でも出てきましたが、テンションを高めにキープしながら、サビで思いっきり弾けていただくといいと思います。やっぱり、みんなで盛り上がりながら、歌って欲しいですね（笑）。



ガルパンが愛される理由は一つではない

――現在、ガルパンはOVAや劇場版が制作されており、ゲームの世界にも進出しています。ここまで、ガルパンがファンに愛された理由は、どこにあると思いますか？

今までのアニメになかった「戦車と女の子」という要素を、皆様が求めていたからではないでしょうか。戦車って、普段は馴染みのない存在ですが、かわいい女の子と組み合わせることで身近に感じさせたところが、すごく愛されている理由なのかなと感じています。私自身、今まで戦車に関わることがなかったので（笑）。

――戦車が持っていた近寄りがたいイメージを、女の子たちが乗り込むことで身近に感じさせたということですね。

あと、女の子と戦車とのギャップもおもしろいなと思いました。実際に戦車と女の子って、真逆な存在じゃないですか。でも、話数を追うごとにギャップに関係なく、物語や戦車に魅せられてしまいました。とくに、女の子同士の友情に感動しました。たぶん、ヒットの理由は一つだけでなく、さまざまな要因が絡み合った結果だと思います。

――まだ気の早い話だと思いますが、今後、劇場版などが控えています。

もちろん、劇場版の主題歌も歌わせていただければ光栄なんですけど、まだわからないですね（笑）。でも「DreamRiser」は、ずっと皆様の心の中にあると思いますので、これからも愛していただけたらうれしいです。

――こんなシーンを、見てみたいという希望はありますか？

迫力ある戦闘シーンも見てみたいのですが、それ以上に感動できるシーンに期待しています。見終わったあと、あったかい気持ちになりたいです。

――最後に、読者へのメッセージをお願いします。

ガルパンのOP主題歌を歌わせていただいたことによって、たくさんの方に、私のことを知っていただけたことを、すごくうれしく思います。私も「DreamRiser」とガルパンを愛していきますので、皆様もぜひぜひ、末永くよろしくお願いします。



今村和章

いまむらかずあき ● 今村金網工業代表

1972年7月31日生まれ、大洗町出身。県内の工業高校を卒業後、電動工具メーカーに就職。退社後、家業を継ぐと同時に大洗町商工会青年部に入部。実行委員長2期、副部長3期を務める。2007年、町議会議員に当選、現在2期目　今村金網工業WEBサイト ● http://www.geocities.jp/nv_kana_am/

ガルパンとガンダムの構造を検証してみよう

―ガルパンとの出会いは?

大洗商工会青年部に所属していたことからですね。当時は副部長も務めていて。加えて以前から、常盤さんとは色々と動いていましたから、その二点が大きな理由です。

私はアニメ・特撮が大好きで、小さい頃から今までずっと見てきたので、大洗を舞台にアニメをやることに興奮しました。杉山プロデューサーの名刺をいただいたときは、これが憧れのバンダイビジュアルの名刺か、と感慨ひとしおでした。小さい頃からバンダイビジュアルさんのアニメには心を鷲掴みにされていたもので(笑)。

深夜放映のアニメ作品には女子主役の作品が多いので、ガルパンもそういった流れなのかな、と想像していました。青年部独自の試聴会の時は、ひとり興奮して見ていましたね。そのときは『機動戦士ガンダム』と構造が似ていると感じました。

―でもガルパンは、ガンダムとはひと味違う作品ですよね。

戦車道に挫折したみほが、学園や仲間のために戦っていくのは相当困難だったはず。そこと、アムロが何も分からずガンダムに乗って、いつしかみんなのために戦っていく構造と、重なる部分が大きいと思うんです。自分は、学園艦がホワイトベースとしたら、Ⅳ号戦車はガンダムのどの機体に当たるとか、このキャラクターはガンダムのあのキャラと同じ立ち位置にあるとか、楽しく考えながら見ていました。ホント、オタクなので(笑)。ガルパンはどちらかというとスポーツ青春ものに近いんでしょうけど。

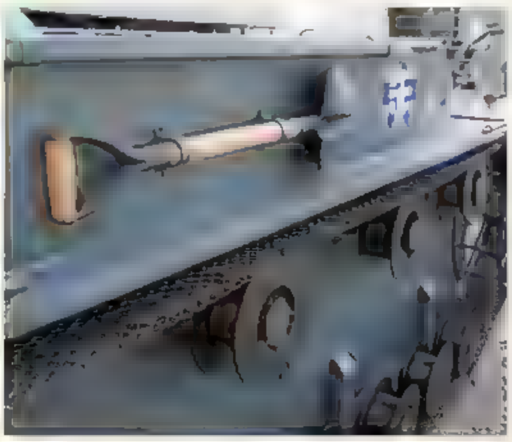
―大洗のイベントではどのような役割をなさっていたのでしょうか。

基本的には青年部の実行部隊なので、頼まれたことはなんでも引き受けていました。自分でできないことは、後輩にも手伝ってもらって。

―コソコソ作戦本部の、実働部隊なのですね。

そうです。もう自ら楽しんでいました。作業後には必ずみんなで飯を食っていましたし。入ると必ず太る青年







ファンの皆様に喜んでもらうことが第一！実際に喜んでいただいて私たちもうれしい!!

部、目指せ1日2万キロカロリーでしたから(笑)。でもそれが、良いコミュニケーションなんです。

あの金アーミー戦車はいかにして作られたか

—金アーミー戦車を、作ろうと思い立った理由は?

自分の親戚である有限会社日照プラント工業の専務さんが、配管を使ったトンボとかカブトムシを趣味で作っていたんです。たまたまガルパンを見て何かできないかとおっしゃっていたのですが、いつの間にか戦車を作り始めていたんです。最初は砲塔部分だけ作ろうと考えていたみたいですが、どんどんほかの部分も作ってしまって。専務さんはこだわりのある

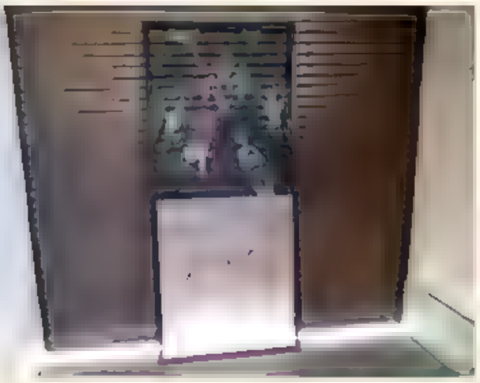


方なので、写真から寸法を割り出して、実戦車の4分の3サイズになるよう作ってあるんです。

私の先輩でもあるペンキ屋さんも、装甲の色を調色してほしいと日照の専務さんから呼び出されたんです。その色を見るために私も伺ったら本格的に参加することになってしまって。最初は、あんこう祭への出展を考えてなかったんですが、痛車コンテストがあると聞き、これ間に合うんじゃない?という話になったんです。ただエントリーには間に合わなかったので、展示だけしてもらいました。

—あれが痛車……ですか?

もともとベースが軽トラですから(笑)。9月から作り始めて、平日は1日4時間、休日は1日中作業しま



した。日照の専務さんは可動部分が一番大変だったと言っていました。砲塔部は小さなホイールが入っていて、手で簡単に左右に回転します。さらに砲身が上下に動きます。軽トラのジャッキが逆さに仕込んであって、それを広げると上下するギミックがあるんです。今村金網工業のネットで履帯を作る際も、動輪・転輪・履帯すべて動くように作っていました。でも展示の際、お客様が触ると危険なこともあるので、固定したんです。砲塔の可動部も電動化したかったんですが、あんこう祭に間に合わなかったので諦めました(笑)。

—軽トラを半分に切って、台座にするとは思い切りましたね。

最初は戦車を作って走らせるつもりはなかったそうです。でも純粋な展示用として作ると、毎回クレーンを使って運ぶのが大変なので、移動手段を考えて車にしたということです。町内の松屋モータースの社長さんが、ちょうど回収してきた軽トラを提供してくれたので実現しました。日照の社長さんは、専務が皆を驚かせてやろうと思っていたことは知っていましたが、まさか軽トラを切って自走するようにするとは思わなかった、と言ってましたよ。

—町総出で作り上げたのですね。

太鼓をしている響囃子のメンバーでもある、ティーガーⅡの戦車パネルを飾っている小野瀬石材店、小野屋機販有限会社の皆様も、塗装や運搬も手伝ってくれました。みんなで協力して作り上げた感じです。

そして今後も拡がるガルパンワールド!

—同じ大洗町議員さんで、軽自動車を迷彩色にした方もいました。

あの迷彩も、私たちが6時間かけて塗装したんです。それも痛車コンテストに出したかったんですが、間に合いませんでした。イベントがあるから車を改造したら、と持ちかけたのは私なんです。1色で塗って運転席に砲塔を付ければヘッツァーのイメージに近いかな、と考えて。持ち主は勘違いして迷彩に塗ったうえに、砲塔も屋根の上に付けちゃったんですけど(笑)。

—今村金網工業の痛網戸は斬新な商品ですね。

常盤さんから商品を考えてみようよ、と提案された時に、うちの親会社が網戸に印刷する技術を持っていたので作ってみましたが賛否両論です(笑)。欲しい人は「欲しい!」と言ってくれるんですが、人によっては「親に言い訳できない」とか「大家に怒られる」とか聞きます(笑)。網戸は窓によりサイズが異なるので、イラストの位置は考え抜きました。最大で横910ミリ×縦2000ミリですが、さまざまなサイズの網戸に設置してもイラストが活きる位置になっています。第二弾の図案も企画中ですので期待してください。

—ファンの反響はどうでしたか?

金アーミー戦車を皆様が喜んでくれて、私たちもとてもうれしいです。ファンの方々に喜んでもらうため、模索しながらやってきたので。ネットにアップされて反響が大きいことにも感激しています。今度いつイベントで持ってくるのかとか、展示してくれませんかと、問い合わせが来るんです。日照の専務さんも「作って良かった」と言ってました。ガルパンを通じて知り合った方々はかけがえのない人たちです。これからも大洗を応援していただきたいと思います。そしてこれからも私たちと一緒にガルパンと大洗を盛り上げていってくださるとありがたいです。

—戦車を作った原動力は、ファンへのサービス精神だったんですね。

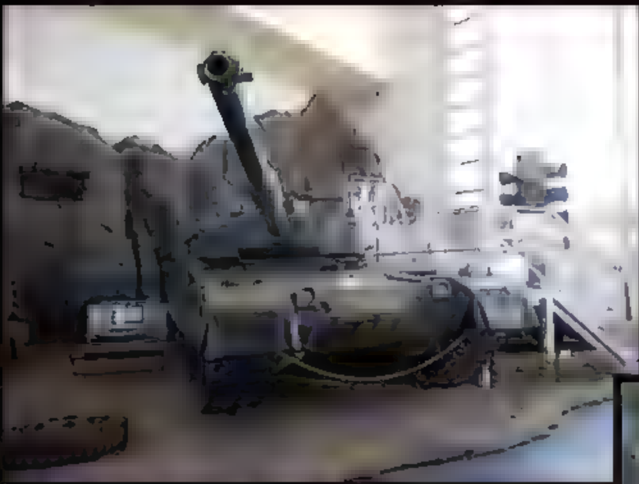
自分たちも遊び心を忘れずにやってきたのが良かったんだと思います。大洗の気質+商工会青年部魂で、一致団結してエイヤッとやってしまう。それで失敗したら飯を食いに行けばいいんです(笑)。

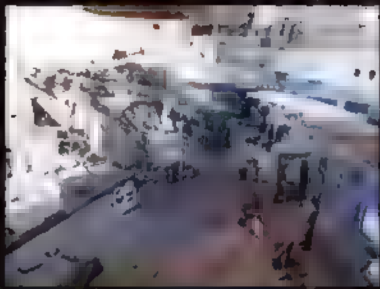
Girls und Panzer Style

ガルパン流 戦車の楽しみ方

ガルパンでは身近な存在の戦車。でも現実では、なかなかお目にかかれないもの。そこで戦車を楽しむ方法をご紹介すべく、今回はりっくんランドをご案内。"本物"が持つスゴ味をお伝えします。

まずは本物の戦車を見てみよう







1F展示ゾーン

90式戦車やAH-1Sなど、陸自のおもな装備品を展示。ミリタリー初心者でも、興奮してしまう光景である

90式戦車

初代の61式戦車から数えて三代目となる、国産主力戦車。高度なコンピュータ射撃統制装置を備えており、精度の高い行進間射撃が可能となっている。りっくんランドでは、貴重な試作車輌が展示されている。





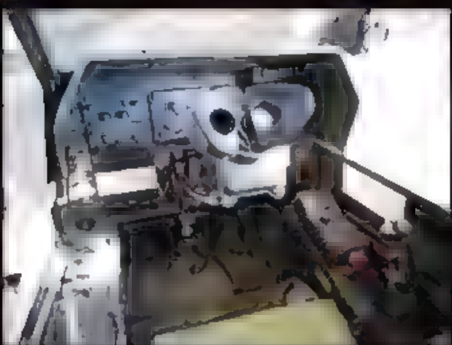
90式戦車の脇には、120ミリ滑腔砲に使用する対戦車用徹甲弾と対戦車りゅう弾を展示。間近で見ると、すごい迫力だ

柵があまり設けられていないため、履帯や転輪に触ることも可能。脇の階段を登れば、砲塔部分も細かく観察できる

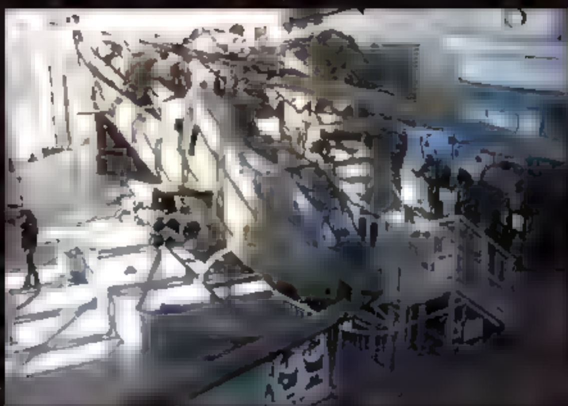








キャノピーが開かれた状態で展示されているため、操縦席のスミからスミまで見学することが可能



AH-1S

「コブラ」と呼ばれる、対戦車ヘリ。TOW対戦車ミサイルや70ミリロケットランチャー、20ミリ三砲身ガトリングガンなどの火器を装備し、戦車の天敵として恐れられている。





フライトシミュレーター

操縦こそできないが、AH-1Sの搭乗者気分に浸れるシミュレーターも設置。ガトリングガンやミサイルを撃つたびに、反動で後方に下がる感覚が非常にリアル。

3Dシアター

陸自の任務を、3D映像と振動するシートで学べるミニシアター。この日は、敵の上陸を阻止する内容のプログラムを上映。ダイナミックな攻撃場面を味わえた。





りっくんランドとは?



正式名称は「陸上自衛隊広報センター」。2002年、多岐に渡る陸自の活動と任務を広報するため、埼玉県朝霞駐屯地内にオープン。子供連れや、修学旅行の生徒が訪れている。

HP http://www.mod.go.jp/gsdf/eae/prcenter/
住所 埼玉県朝霞市栄町4丁目6付近
電話 03-3924-4176
開館時間 10:00～17:00 入館無料
休館日 月曜日及び第4火曜日（祝日の場合は翌日）

教えて！広報担当さん

教えてくれた方 山川和志 陸准尉



——ガルパンは、ご存知ですか？

山川　もちろんです。広報室長の推薦もあり、ここの勤務者は全員、拝見しています。主人公たちが優勝を目指して、切磋琢磨するところに青春の爽やかさを感じました。

——戦車搭乗員になるための、過程を教えてください。

山川　陸自は、16種類の職種に分かれており、戦車は機甲科です。入隊後、3ヶ月の教育過程を経て、本人の希望と部隊の要望により配属先が決まります。機甲科に配属されたら、また3ヶ月の教育過程があります。戦車搭乗には、陸曹にならなければならず、訓練や経験を重ねてスキルアップする必要があります。

——操縦に、特殊な免許は必要ですか？

山川　大型特殊免許が必要です。ただし、最初から免許を持っていても、操縦はできません。戦車専用の操縦訓練を修了しなければなりません。

——現在、女性隊員で戦車に乗っている方はいらっしゃいますか？

山川　前線勤務はしませんが、機甲科にも女性隊員が配属されています。後方任務や訓練の一環で、戦車を動かすこともあります。

——今後行われる、りっくんランドのイベントを教えてください。

山川　3月15日〜16日に「スプリングフェア」という、大型トラックの体験乗車や化学科部隊の車輌展示などを行います。また年間を通じて、音楽隊の演奏会やヘリコプターの体験搭乗を実施しておりますので、ぜひホームページをご覧ください。





2F展示ゾーン

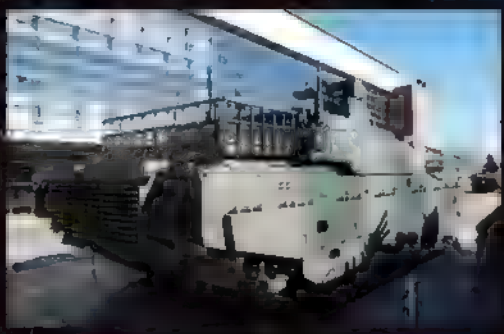
陸自の歴史を、貴重な資料や絵画、写真等で紹介するギャラリー。2003年、イラクにPKO派遣された際に使われた本物の宿営地の看板など、重みのある展示物が並べられている

屋外展示ゾーン



屋外には10式戦車を始め、本物の装甲車輌がズラリと整列。今後、新たな車輌が展示される可能性もあるそうだ





10式戦車

陸自の最新鋭戦車。90式戦車よりも小型・軽量化されたうえ、日本の戦車としては初のC4Iシステムを搭載。高度なネットワーク機能を持つ。さらに、射撃統制装置も向上。スラロームしながらの行進間射撃も可能である。



砲塔側面のマークは、静岡県・富士駐屯地内にある、富士学校機甲科部のもの



94式水際地雷敷設装置



海岸線に地雷を敷設するための、水陸両用車輌。2013年、大洗町で開催された「大洗 海開きカーニバル」に登場。体験乗車の模様がニュースにもなった。



74式戦車

61式戦車の後継として開発された、国産二代目の戦車。旧式化は否めないが、現在でも配備数は90式戦車よりも多い。丸みを帯びた砲塔が特徴で、案内してくれた山川准尉も、そのフォルムが好きなのだという。

おみやげは売店「SAKURA」で



1F入り口脇にあり、朝霞駐屯地限定のお菓子や戦闘糧食と種類も豊富。ガルパン関連では、第10話に登場した九五式小型乗用車の模型が売られていた





山川准尉によると、1500メートル先も照射可能なアクティブ投光器が、1991年に起きた雲仙普賢岳の火砕流の夜間監視に役立ったそうだ





それいけ！ガルパン料理道





●今回のテーマ●
あんこう鍋

ガルパンで印象的なのが、ヒロインたちが食べていたおいしそうな料理。ここではガルパンに登場した、さまざまな料理の作り方をお伝えいたします。

大洗町の名物といえば、やはりあんこう鍋。この時期、大洗町の沖合で捕れるあんこうは、とくに「常磐もの」と呼ばれて珍重されている。グロテスクな見かけと裏腹に、白身は淡白でありながら味わい深く、そのほかの部位もバラエティーに富んだ食感を楽しめる。

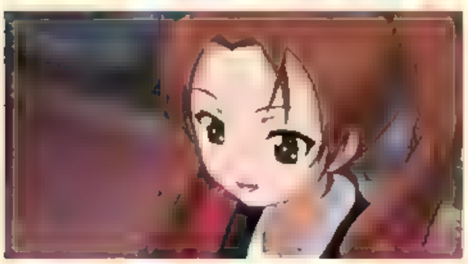
ガルパンでも第8話で、生徒会のメンバーが、みほに本当のことを話そうとしたエピソードに登場。学園廃校の危機を知らせようとする、生徒会メンバーのしんみりとした心情に、アクセントを与えている。

ただし、ヌメヌメとしたあんこうをまな板の上で捌くのは至難の業。そこで、大きなあんこうの口にフックをかけて、吊るして捌く「吊るし切り」という方法が取られる。

さぞかし、高度な技が必要なのかと思いきや、今回吊るし切りを披露してくれた肴屋本店の若旦那、大里明さんによると「あんこうは捌くというよりも、叩き切ったりひっぱる作業が多いのです。実際には、難しい技術は必要ないんですよ（笑）」とのこと。ぜひ次のページを参考に、皆様も吊るし切りに挑戦していただきたい。









キミにもできる!

あんこうのきれいな捌き方

教えてくれた方 肴屋本店の若旦那 **大里 明さん**



今回用意したあんこうは、約12.5キログラム。あんこうとしては、標準的なサイズです。こうして吊るされると、ちょっと哀れに感じてしまうから不思議なもの。なお大物だと、20キログラム以上にもなるそうです。



まず左右のヒレを切り落としたのち、下アゴに包丁を入れて皮をめくります。ある程度めくれたら、すべらないように手ぬぐいなどで皮をつかみ、一気に剥いでいきます。だんだんと、ハダカになっていくあんこうが寒そうです。



皮をはがしたら、下アゴやエラ付近に包丁を入れて、どんどん捌きます。なお、赤く見える部分がエラ。一匹のあんこうに、2つしかないため貴重な部位。下ごしらえしたあと鍋で煮込むと、コリコリとした食感が味わえます。



腹から取り出したのが「海のフォアグラ」と言われる肝。味は濃厚で、肝の良し悪しによりあんこうの価値も決まります。また調理法には「どぶ汁」と言って、肝を鍋でから煎りしたあと、味噌仕立ての出汁を入れる方法もあります。



肝を取ったあとに、お腹の周りを切り落として取り出すのが卵巣。膜に粒状の卵が、びっしりついています。ただし、春先に近づくと卵が3～4倍もの大きさになって食感が悪くなるため、あんこうのシーズンも終わりに近づきます。



最後に、台身と呼ばれるあんこうの白身を卸して、吊るし切りは終了。わずか15分程度の作業でした。なお、捕れたてのあんこうならば、刺身も可能とのこと。目玉の下にあるほほ肉は、寿司にするところもあるそうです。



あんこうには、代表的な7つの部位があります。それらは「7つ道具」と言われ、ひれ、皮、エラ、肝、胃袋、ぬの(卵巣)、台身(白身、柳肉ともいう)と、骨とアゴ、眼球以外はほぼあますところなく食べられます。



鍋に入れる野菜類は、お好みでチョイス。白菜やネギ、春菊やえのき茸が、代表的なものといえます。もちろん。人参やしいたけなどを加えてもOK。あなただけの、オリジナルあんこう鍋にチャレンジしてみよう。

プロが教えてくれる おいしさの秘密

あんこうの味を左右するのは、捌き方よりも下ごしらえにあります。各部位のぬめりを、流水でよく洗うことが重要なポイントとなります。

「実は、この下ごしらえに一番時間がかかります。卸したあんこうの周りにまとわりつく、ぬめりをていねいに取りのぞかないと美味しいあんこう鍋にはなりません。」(大里さん)。



割烹旅館 肴屋本店

HP：http://sakanaya-honten.com/
住所：茨城県東茨城郡大洗町磯浜町 715
電話：029-267-2211
チェックイン：15:00　チェックアウト：10:00

ファンで知らぬものはいない、大洗の名所。玄関では、ダージリン様(パネル)が笑顔でお出迎え。ロビーでも、各種グッズも発売中







■表紙の戦車
聖グロリアーナ女学院
マチルダII歩兵戦車 Mk. III / IV

所属：聖グロリアーナ女学院
生産：イギリス
製造：ヴィッカーズ・アームストロング社

CG：柳野啓一郎（グラフィニカ）
美術：片平真司（スタジオ・アカンサス）

企画・編集・執筆
湯原隆幸（バンダイビジュアル）
杉山潔（バンダイビジュアル）
小牧雅伸（スタジオ小牧）
千手創壱（スタジオ小牧）
鈴木貴昭
岡田邦彦
糟谷富美夫
モリナガ・ヨウ

執筆・編集協力
塩田昌之

写真提供
グランドパワー（ガリレオ出版）

カバー・本文デザイン
原田美穂（OverDriveDesign）
浜岡弘臣（OverDriveDesign）
中村浩樹（OverDriveDesign）

協力
バンダイビジュアル
バンダイナムコゲームス
バンプレスト
アクタス
ランティス
グラフィニカ
スタジオ・アカンサス
スタジオ・ちゅーりっぷ
陸上自衛隊広報センター
大洗町商工会
常盤良彦（クックファン・大洗まいわい市場）
大里明（肴屋本店）
日照プラント工業
大洗町の皆さま
ガリレオ出版
吉川和篤

発行日　2014年2月21日
発行人　米田国利
発行所　バンダイビジュアル株式会社
〒140-0002
東京都品川区東品川4-12-4
http://www.bandaivisual.co.jp/
印刷所　株式会社テンプリント

【バンダイビジュアル お客様センター】
TEL：03-5828-7582
受付は月曜日から金曜日までの午前10時から午後5時まで
（祝日、年末年始を除く）

TU-0270

月刊戦車道

第63回戦車道全国高校生大会 増刊 第1号

第63回戦車道全国高校生大会 増刊 第2号 次回予告

いよいよ、聖グロリアーナと黒森峰が全国大会一回戦に登場!

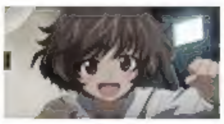
連載小説 聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡
聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

聖グロリアーナの相手は、BC自由学園。ダージリンは、いかにして第一回戦を戦うのか。そして黒森峰は、九七式中戦車を擁する知波単学園と激突。戦いの行方に目が離せない!





空の次は、水陸両用戦車を大特集 **不肖・秋山優花里の戦車講座**





決勝戦で、大洗女子のM3中戦車がエンストしたように、河川は戦車の大敵。そこで、秋山優花里が、古今東西のユニークな水陸両用戦車にスポットを当てていきます。

サンダース大学付属高校をクローズアップ！
ライバルチーム研究

全国大会第二回戦で、大洗女子を苦しめたサンダース大学付属を特集。ポンプル学園やマジノ女学院も解説。



そのほかにも、目玉記事が目白押し。

- グラフィック イン アクション
- 大洗女子チームの日常
- 大洗女子チームメンバー 戦車愛を語る
- ガルパン トピックス
- ガルパン メイキング ログ
- ガルパン・イベントレポート
- プロジェクトG ～ガルパンを支えた人びと～
- ガルパン流 戦車の楽しみ方
- それいけ! ガルパン料理道

あの

感動と興奮に包まれたディファ有明のイベントを完全収録！

2013年4月28日、東京・ディファ有明で開催した「ハートフル・タンク・カーニバル」をはじめ、各種特典映像を満載した「ハートフル タンク ディスク」が、現在好評発売中。その見どころは、約124分に渡って収録された表題イベントにある。とくに、OVA&劇場版の制作発表で涙をにじませる、あんこうチームキャスト陣の表情は必見。OP主題歌を熱唱した、ChouChoさんのライブも見逃せません。





イベントには、県立大洗高等学校吹奏楽部「BLUE-HAWKS」も登場。ガルパンの楽曲などを、披露した







クイズコーナーでは、冷泉麻子役の井口裕香さんが、珍回答で爆笑を誘うボケを連発！

ハートフル タンク ディスク

●Blu-ray：¥6,000（税抜）　DVD：¥5,000（税抜）
●CAST：渕上舞（西住みほ役）、茅野愛衣（武部沙織役）、尾崎真実（五十鈴華役）、中上育実（秋山優花里役）、井口裕香（冷泉麻子役）、福圓美里（角谷杏役）、高橋美佳子（小山柚子役）、植田佳奈（河嶋桃役）、ChouCho、BLUE-HAWKS

収録内容

〈本編ディスク〉

●ハートフル・タンク・カーニバル
2013年4月28日にディファ有明で行われたイベントを収録

●スタッフコメンタリー
鈴木貴昭（考証・スーパーバイザー）、岡部いさく（軍事評論家）、高久裕輝（「月刊モデルグラフィックス」副編集長）、杉山潔（プロデューサー）

〈特典ディスク〉

●メイキング オブ ガールズ&パンツァー
スタッフによる陸上自衛隊武器学校及び海上自衛隊護衛艦「ひゅうが」のロケハン風景

●渕上舞&中上育実の戦車研修 突撃！富士学校!!
陸上自衛隊富士学校に、渕上舞と中上育実が突撃取材を敢行

●"みほ"と私とファンの皆さま
あんこうチームが参加した今までのイベントを、渕上舞がインタビュー形式で振り返る

●秋山優花里の戦車講座～イベント出張編～
4月28日のイベントで上映された、戦車講座を収録

●秋山優花里の戦車講座～番外編～
第12話、決勝戦における両チームの戦術を解説

●ピクチャードラマ 4エピソード
「料理です！」（新録音）や新作の「ダージリン様の格言集」を含めた、4つのエピソードを収録

〈特製CD「雪の進軍」〉
本編中の挿入歌「雪の進軍」を新録音したCDを同梱



みほとファンとの思い出を振り返る！

これまでにあんこうチームが参加したイベントの回想録。インタビュー形式で、しみじみと思い出を振り返る渕上舞さんの姿が印象的

渕上舞&中上育実が戦車研修に挑戦！

静岡県・富士駐屯地内にある、陸上自衛隊富士学校に2人が突撃。90式戦車や10式戦車に搭乗する、2人の貴重な映像もたっぷり収録



ガールズ&パンツァー Blu-ray スタンダード版 各巻好評発売中

第1巻 第1話「戦車道、始めます！」 第2話「戦車、乗ります！」



●Blu-ray：¥6,000（税抜）
●毎回映像特典：OVA第1話「ウォーター・ウォー！」、「不肖・秋山優花里の戦車講座～第一回～」
●音声特典：第1話、第2話オーディオコメンタリー〈渕上舞（西住みほ役）、茅野愛衣（武部沙織役）、尾崎真実（五十鈴華役）〉

第2巻 第3話「試合、やります！」 第4話「隊長、がんばります！」



●Blu-ray：¥6,000（税抜）
●毎回映像特典：OVA第2話「サバイバル・ウォー！」、「不肖・秋山優花里の戦車講座～第二回～」
●音声特典：第3話・第4話オーディオコメンタリー〈渕上舞（西住みほ役）、尾崎真実（五十鈴華役）、中上育実（秋山優花里役）、井口裕香（冷泉麻子役）〉

第3巻 第5話「強豪・シャーマン軍団です！」 第6話「一回戦、白熱してます！」



●Blu-ray：¥6,000（税抜）
●毎回映像特典：第5.5話「紹介します！」、OVA第3話「スクールシップ・ウォー！」、「不肖・秋山優花里の戦車講座～第三回～」
●音声特典：第5話・第6話オーディオコメンタリー〈渕上舞（西住みほ役）、中上育実（秋山優花里役）、川澄綾子（ケイ役）〉

第4巻 第7話「次はアンツィオです！」 第8話「プラウダ戦です！」



●Blu-ray：¥6,000（税抜）
●毎回映像特典：OVA第4話「アンコウ・ウォー！」〈あんこう音頭フルver.を収録。絵コンテ・演出を水島努監督が担当〉、「不肖・秋山優花里の戦車講座～第四回～」
●音声特典：第7話・第8話オーディオコメンタリー〈渕上舞（西住みほ役）、井口裕香（冷泉麻子役）、井澤詩織（園みどり子役）、金元寿子（カチューシャ役）〉

第5巻 第9話「絶体絶命です！」 第10話「クラスメイトです！」



●Blu-ray：¥6,000（税抜）
●毎回映像特典：第10.5話「紹介します2！」、OVA第5話「スノー・ウォー！」、「不肖・秋山優花里の戦車講座～第五回～」
●音声特典：第9話・第10話オーディオコメンタリー〈渕上舞（西住みほ役）、福圓美里（角谷杏役）、高橋美佳子（小山柚子役）、植田佳奈（河嶋桃役）〉、第10.5話オーディオコメンタリー〈渕上舞（西住みほ役）、井澤詩織（園みどり子役）、山本希望（ナカジマ役）、葉山いくみ（ねこにゃー役）〉

第6巻 第11話「激戦です！」 第12話「あとには退けない戦いです！」



●Blu-ray：¥6,000（税抜）
●毎回映像特典：OVA第6話「エンカイ・ウォー！」、「不肖・秋山優花里の戦車講座～第六回～」
●音声特典：第11話・第12話オーディオコメンタリー〈渕上舞（西住みほ役）、茅野愛衣（武部沙織役）、尾崎真実（五十鈴華役）、中上育実（秋山優花里役）、井口裕香（冷泉麻子役）〉

●発売・販売元：BANDAI VISUAL バンダイビジュアル株式会社

ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER
月刊 戦車道 特別編集
月刊 戦車道 第63回 戦車道全国高校生大会 増刊第1号
●発行：財団法人 日本戦車道連盟 Tel.1000-100-5050
●編集：月刊戦車道 編集部
●発売・販売元：バンダイビジュアル株式会社

TU-0270

